

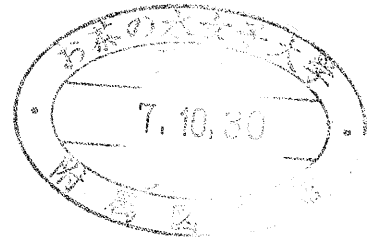
お茶の水女子大学学报

平成 7 年 9 月 1 日
お茶の水女子大学庶務課

目 次

◇学 事	2
○平成 8 年度お茶の水女子大学 入学者選抜要項	2
○平成 8 年度お茶の水女子大学 特別選抜学生募集要項（推薦入学・ 帰国子女特別選抜）	13
○平成 8 年度お茶の水女子大学 私費外国人留学生（学部留学生） 入学者選抜要項	17
○平成 8 年度お茶の水女子大学 文教育学部第 3 年次編入学（社会人 特別選抜を含む）学生募集要項	21
○平成 8 年度お茶の水女子大学 理学部第 3 年次編入学（社会人 特別選抜を含む）学生募集要項	30
○平成 8 年度お茶の水女子大学 生活科学部第 3 年次編入学 学生募集要項	36
○平成 7 年度お茶の水女子大学 公開講座要項	38
○平成 7 年度科学研究費補助金配分 決定一覧	43
◇人 事	47

◇諸 報	48
○研 修	48
○海外渡航	49
○レクリエーション行事	53
○給与等に関する勧告について	54
◇日 誌	74



学 事

○平成8年度お茶の水女子大学入学者選抜要項

1. 学部・学科別募集人員

[文教育学部] 連続方式 (A日程)

学 科		入学定員	募集人員	備 考
哲	学 科	24	24	
史	学 科	23	23	
地	理 学 科	22	17	別募集 推薦入学5名
国	文 学 科	35	27	別募集 推薦入学8名
外 国 文学科	中国文学・中国語学	12	8	別募集 推薦入学4名
	英文学・英語学	37	37	
	仏文学・仏語学	8	8	
教 育 学 科	教 育 学	23	23	
	心 理 学	17	17	
舞 踊 教 育 学 科	舞 踊 教 育 学	18	18	
	音 楽 教 育 学	13	13	
計		232	215	

[理 学 部] 連続方式 (A日程)

学 科		入学定員	募集人員	備 考
数	学 科	25	18	別募集 推薦入学6名 別募集 帰国子女特別選抜若干名
物	理 学 科	25	20	別募集 推薦入学5名
化	学 科	25	20	別募集 推薦入学5名
生	物 学 科	27	20	別募集 推薦入学7名
情	報 科 学 科	40	32	別募集 推薦入学8名
計		142	110	

[生活科学部] 分離・分割方式 (前期日程・後期日程)

学 科	入学定員	募 集 人 員		備 考
		前期日程	後期日程	
生 活 環 境 学 科	70	46	12	別募集 推薦入学12名
人 間 生 活 学 科	76	50	12	別募集 推薦入学14名
計	146	96	24	

2. 出願資格

下記のいずれかに該当する女子で、かつ、平成8年度大学入試センター試験を受験した者

- (1) 高等学校を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成8年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第69条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成8年3月31日までにこれに該当する見込みの者

3. 出願期間

平成8年1月22日（月）から平成8年1月31日（水）まで

4. 出願方法

(1) 本学各学部別の出願について

〔文教育学部〕

文教育学部に出願する者は、同一学部内に限り第2志望まで認める。ただし、本学の個別学力検査で「数学」を選択した者は「地理学科」、「教育学科（心理学）」、「舞踊教育学科」の範囲内に限る。

〔理学部〕

理学部に出願する者の志望学科は1つの学科に限る。

〔生活科学部〕

生活科学部に出願する者は、「前期日程」又は「後期日程」のいずれであっても志望する学科は1つの学科に限る。なお、「前期日程」と「後期日程」で志望する学科が異なっても差し支えない。

(2) 本学出願者の他の国公立大学への出願について

学 部 名	選 抜 方 式	他に出願できる国公立大学・学部
文教育学部 理 学 部	連続方式 〔A日程〕	「B日程グループ」又は本学を含む「後期日程グループ」に属する大学・学部に出願できる。
生活科学部	分離・分割方式 〔前期日程〕	「B日程グループ」又は本学を含む「後期日程グループ」に属する大学・学部に出願できる。
	分離・分割方式 〔後期日程〕	本学を含む「A日程グループ」又は「前期日程グループ」に属する大学・学部に出願できる。

(注)「B日程グループ」には、私立産業医科大学を含む。

5. 入学者選抜方法

(1) 入学者の選抜

【文教育学部・理学部・生活科学部（前期日程）】

入学者の選抜は、大学入試センター試験成績、本学の個別学力検査成績（文教育学部舞踊教育学科は実技検査を含む。）、調査書及び健康診断書を総合して合格者を判定する。

【生活科学部（後期日程）】

入学者の選抜は、大学入試センター試験成績、調査書及び健康診断書を総合して合格者を判定する（本学の個別学力検査は実施しない）。

(2) 2段階選抜

【文教育学部・理学部・生活科学部（前期日程）】

入学志願者が募集人員を大幅に上回り、本学の個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合は、第1段階選抜を行い、その合格者に対して本学の個別学力検査（文教育学部舞踊教育学科は実技検査を含む。）を行う。

（選抜方法）

本学各学部の定める「大学入試センター試験で受験を要する教科等」の各教科・科目の得点（本学が定める配点）を合計したものを受験者成績とし、得点順に各学部・学科等の募集人員の約6倍を、第1段階選抜合格者とする。

【生活科学部（後期日程）】

第1段階選抜は、実施しない。

6. 大学入試センター試験で受験を要する教科等

学部等名		受験を要する 教科名等	受験を要する教科名	受験を 要する 教科数
文 教 育 学 部			国語 社会（倫、日、世、地理、現社*から1） 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）	5教科
理 学 部			国語 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）	4教科
生活科学部	生活環境学科	前期日程	国語 社会（倫、日、世、地理、現社*から1） 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）	5教科
		後期日程	国語 社会（倫、日、世、地理、現社*から1） 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）	5教科
	人間生活学科	前期日程	国語 社会（倫、日、世、地理、現社*から1） 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）	5教科
		後期日程	国語 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 外国語（英、独、仏から1）	3教科

* 「現代社会」及び「理科Ⅰ」は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業（見込み）者は、解答できない。

※ 「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」及び「工業数理」は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者のみ解答できる。

7. 本学の入学試験

(1) 個別学力検査等試験期日

文教育学部 平成8年2月25日(日)、舞踊教育学科実技検査は2月26日(月)

理学部 平成8年2月25日(日)

生活科学部

〔前期日程〕 平成8年2月25日(日)

〔後期日程〕 個別学力検査は実施しない。

(2) 個別学力検査教科・科目

志願する学部・学科		学力検査科目		備考
※ 文教育学部	哲学 史学科 地理学 国文学 外国文学 教育学科(教育学) 教育学科(心理学) 舞踊教育学科	A	国語(国語Ⅰ・Ⅱ、古典) 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)	舞踊教育学科(舞踊教育学、音楽教育学)の志望者にはほかに実技検査を行う
	地理学 教育学科(心理学) 舞踊教育学科	B	数学(数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)	
理学部	数学科		数学(数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*) 理科(物理、化学、生物から1科目選択)	
	物理学		数学(数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*) 理科(物理)	
	化学		数学(数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 理科(「化学」と「物理、生物から1科目選択」)	
	生物学		数学(数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 理科(「生物」と「物理、化学から1科目選択」)	
	情報科学		数学(数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確立・統計*) 理科・数学(「物理」、「化学」、「生物」、「数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確立・統計*」から2科目選択)	

志願する学部・学科		学力検査科目		備考	
☆ 生 活 学 部	生活環境学科	前期日程	数学(数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)		
		後期日程	課さない。		
	人間生活学科	前期日程	A	国語(国語Ⅰ・Ⅱ、古典) 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)	
			B	数学(数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)	
	後期日程	課さない。			

* 数学のうち確率・統計については、高等学校学習指導要領の確率・統計の内容のうち「(1)資料の整理」、「(4)確率分布」及び「(5)統計的な推測」を除く。

※ 地理学科、教育学科(心理学)及び舞踊教育学科志望者は、A・Bいずれかで受験すること。

☆ 人間生活学科前期日程志望者は、A・Bいずれかで受験すること。

(3) 実技検査

○ 舞踊教育学志望者に次の2種の検査を行う(第2志望とした場合も同じ)。

① ダンス(全員に課する)

ア. 与えられた基礎運動

イ. 創作(各種舞踊に基づいた創作も可)

② スポーツ(次のア～オから1種目を選択)

ア. 陸上競技(短距離走及び走り幅跳び)

イ. 器械運動(マット運動)

ウ. バレーボール

エ. バスケットボール

オ. テニス(硬式又は軟式)

○ 音楽教育学志望者に次の検査を行う(第2志望とした場合も同じ)。

① ソルフェージュ

ア. 聴音: 1～4声部

イ. 新曲視唱

② 声楽

下記の(i)、(ii)、(iii)のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。

(i) イタリア古典歌曲(原語)1曲を自由選択

(ii) イタリア古典歌曲(原語)1曲[(i)に同じ]、及び日本歌曲1曲をそれぞれ自由選択

(iii) イタリア古典歌曲(原語)1曲[(i)に同じ]、及びアリア(原語・原調)1曲を自由選択

なお、声楽は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜(複写譜も可)に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。(返却しない。)

③ ピアノ

下記の(i)、(ii)、(iii)のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。繰返しはしないこと。

(i) J.S.バッハ作曲の鍵盤音楽(3分以内)から1曲を自由選択

(ii) J.S.バッハの作品1曲[(i)に同じ]、及びベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択(ただし、緩徐楽章を除く。)

(iii) J.S.バッハの作品1曲[(i)に同じ]、及びショパンの練習曲集(作品10、作品25)から2曲を自由選択

8. 試験教科・科目別配点

文教教育学部

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験				本学の試験			合計	備考			
	国語	社会	数学	理科	外国語	計	国語			数学	外国語	計
全学科 A	100	50	100	50	100	400	200	—	200	400	800	
地理学科												
教育学科 (心理学)	100	50	100	50	100	400	—	200	200	400	800	舞踊教育学科舞踊教育学・音楽教育学は、実技検査を課し、総合判定の資料とする。
舞踊教育学科												

理学部

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験				本学の試験						合計	備考		
	国語	社会	数学	理科	外国語	計	数学		物理学	化学			生物	計
数学科							100☆	200	—	(100)	(100)	400	数学科)から1科目選択 科は()から1科目選択 情報科学科は()から 2科目選択 * ☆ 数学は共通の科目のうち「微分・積分」を除く	
物理学科							100☆	—	100	200	—	400		
化学科			50	50	100	250	100☆	—	—	(100)	200	400		
生物学科							100☆	—	—	(100)	(100)	200		400
情報科学科							100☆	100	(100)	(100)	(100)	400		
							100☆	100	(100)	(100)	(100)	400		

生活科学部

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験				本学の試験			合計	備考			
	国語	社会	数学	理科	外国語	計	国語			数学	外国語	計
生活環境学科	前期日程	100	50	100	50	100	400	—	200	200	400	800
	後期日程	100	50	200	100	150	600	—	—	—	600	
人間生活学科	前期日程 A	100	50	100	50	100	400	200	—	200	400	800
	後期日程 B	200	—	200	—	200	600	—	200	200	400	
	後期日程	200	—	200	—	200	600	—	—	—	600	800

(注) 三学部とも大学入試センター試験の理科を2科目以上受験した場合は、高得点の科目の成績を用いる。

9. 身体に障害のある者の出願

本学に入学を志望する者のうち、身体に障害があり、受験上特別な措置を希望する者については、事前協議を行うので、出願に先立ち本学入学主幹室に申し出て（電話可）、「受験特別措置協議申請書」を受領のうえ、12月19日（火）までに必要書類（医師の診断書等）を添えて提出すること。

10. 学生募集要項の交付

入学者選抜に関する細目を記載した「平成8年度一般選抜学生募集要項」（出願関係書類添付）の交付は、平成7年11月中旬から行う。

〔交付場所〕 お茶の水女子大学入学主幹室及び各学部事務部

〔郵送による請求方法〕

郵送を希望する者は390円切手を貼った返信用封筒角型2号（23.9×33.1cm）に宛名を明記したものを同封の上、封筒の表に「一般選抜募集要項請求」と朱書きして、志望学部の事務部へ請求すること。

なお、郵便事情を考慮して早めに請求すること。この募集要項は全学部の内容を網羅しており、各学部共通である。

請 求 先 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 ○○○ 学部事務部

11. 入学者選抜等に関する照会先

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学

入学主幹室 入学試験係 (03)5978-5151~2

文教育学部事務室 (03)5978-5162

理学部事務室 (03)5978-5287

生活科学部事務室 (03)5978-5722

テレホンサービス (03)3946-5109

月曜日～金曜日（祝日は除く） 9時から17時

※ 照会はできるだけ志願者本人が行ってください。

推 薦 入 学

学 部 名	文 教 育 学 部	理 学 部	生 活 科 学 部
募集人員	地理学科 入学定員のうち5名 国文学科 入学定員のうち8名 外国文学科（中国文学・中国語学） 入学定員のうち4名	数学科 入学定員のうち6名 物理学科 入学定員のうち5名 化学科 入学定員のうち5名 生物学科 入学定員のうち7名 情報科学科 入学定員のうち8名	生活環境学科 入学定員のうち12名 人間生活学科 入学定員のうち14名
出願資格 及び推薦 の要件	平成7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの女子で、高等学校長が次の①又は②のいずれかに該当すると認め、責任をもって推薦できる者。 ① 調査書の学習成績概評が④の者 ② 志望学科に関連する科目〔地理学科の関連科目は地理又は地学、国文学科は国語、外国文学科（中国文学・中国語学）は国語又は外国語〕において特に優れた能力と意欲を有する者	平成7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの女子で、真理の探求に対し強い憧憬と意欲を抱き、かつ、高等学校長が次の①又は②のいずれかに該当すると認め、責任をもって推薦できる者。 ① 調査書の学習成績概評が④の者 ② 志望学科に関連する科目において特に優れた能力と意欲を有する者	平成7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの女子で、真理の探求に対し強い憧憬と意欲を抱き、かつ、高等学校長が次の①又は②のいずれかに該当すると認め、責任をもって推薦できる者。 ① 調査書の学習成績概評が④の者 ② 志望学科における各専門領域の勉学に強い意欲を有する者
選考方法	出願書類の審査により第1次選考を行い、選考結果は平成7年11月22日までに本人に通知する。第2次選考は、第1次選考合格者について小論文と面接（口頭試問を含む。）を課し総合的に判定する。なお、第2次選考は平成7年11月29日・30日に行い、選考の結果は12月7日に学内掲示し、かつ本人宛に郵送（速達）により通知する。	出願書類の審査により第1次選考を行い、選考結果は平成7年11月22日までに本人に通知する。第2次選考は、第1次選考合格者について小論文（生物学科のみ）と面接（口頭試問を含む。）を課し総合的に判定する。なお、第2次選考は平成7年12月1日に行い、選考の結果は12月7日に学内掲示し、かつ本人宛に郵送（速達）により通知する。	出願書類の審査により第1次選考を行い、選考結果は平成7年11月22日までに本人に通知する。第2次選考は、第1次選考合格者について面接（口頭試問を含む。）を課し総合的に判定する。なお、第2次選考は平成7年11月29日に行い、選考の結果は12月7日に学内掲示し、かつ本人宛に郵送（速達）により通知する。
出願時期	文教育学部	平成7年11月1日（水）～11月8日（水）	
	理学部 生活科学部	平成7年11月1日（水）～11月7日（火）	
推薦入学 募集要項 請求方法	8月下旬から配付する。郵送を希望する者は、390円切手を貼った返信用封筒角型2号（23.9×33.1cm）に宛名を明記したものを同封し、封筒の表に「推薦入学募集要項請求」と朱書して、志望学部の事務部へ請求すること。		
請 求 先	〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学 ○○○学部事務部		

注：推薦を行う者については、高等学校長のほか高等専門学校長及び文部大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定された在外教育施設の長を含む。

帰国子女特別選抜

学 部 名	理 学 部
募 集 人 員	数 学 科 : 入学定員のうち若干名
出 願 資 格	<p style="text-align: center;">* * 平成7年度末までに高等学校を卒業又は卒業見込みの女子で、外国において2年以上継続して外国の正規の学校教育を受けた者。 ただし、帰国してから出願までの期間は、外国での正規の学校在学期間を超えないこと。</p> <p>* 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は修了見込みの者を含む。</p> <p>(注) 外国に設置されたものであったも、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、外国において学校教育を受けたものとはみなさない。</p>
選 考 方 法	<p>入学者の選抜は、第1次選考、第2次選考に分けて行う。</p> <p>① 第1次選考：出願書類を資料として行い、選考結果は11月22日（水）までに本人に通知する。</p> <p>② 第2次選考：第1次選考合格者に対し、数学、日本語による小論文及び口述試験を行う。</p> <p>なお、第2次選考は、平成7年12月1日（金）に行い、選考の結果は、12月7日に学内掲示し、かつ本人宛に郵送（速達）により通知する。</p> <p>(注) 数学の内容は、数学I、代数・幾何、基礎解析、微分・積分</p>
出 願 時 期	平成7年10月23日（月）～ 11月7日（火）
帰 国 子 女 特 別 選 抜 募 集 要 項 請 求 方 法	<p>8月下旬から配付する。郵送を希望する者は、390円切手を貼った返信用封筒角型2号（23.9×33.1cm）に宛名（日本国内の連絡先に限る）に明記したものを同封し、封筒の表に「帰国子女募集要項請求」と朱書して、下記へ請求すること。</p>
請 求 先	〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学 理学部事務部

**○平成 8 年度お茶の水女子大学特別選抜学生募集要項
(推薦入学・帰国子女特別選抜)**

1. 学部・学科別募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
文 教 育 学 部	地 理 学 科	入学定員のうち 5名
	国 文 学 科	入学定員のうち 8名
	外 国 文 学 科 (中国文学・中国語学)	入学定員のうち 4名
理 学 部	数 学 科	入学定員のうち 6名
	物 理 学 科	入学定員のうち 5名
	化 学 科	入学定員のうち 5名
	生 物 学 科	入学定員のうち 7名
	情 報 科 学 科	入学定員のうち 8名
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	入学定員のうち 12名
	人 間 生 活 学 科	入学定員のうち 14名

2. 出願資格及び推薦の要件

文 教 育 学 部	<p>平成7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの女子で、高等学校長が次の①又は②のいずれかに該当すると認め、責任をもって推薦できる者。</p> <p>① 調査書の学習成績概評がAの者</p> <p>② 志望学科に関連する科目〔地理学科の関連科目は地理又は地学、国文学科は国語、外国文学科(中国文学・中国語学)は国語又は外国語〕において特に優れた能力と意欲を有する者</p>
理 学 部	<p>平成7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの女子で、真理の探究に対し強い憧憬と意欲を抱き、かつ、高等学校長が次の①又は②のいずれかに該当すると認め、責任をもって推薦できる者。</p> <p>① 調査書の学習成績概評がAの者</p> <p>② 志望学科に関連する科目において特に優れた能力と意欲を有する者</p>
生 活 科 学 部	<p>平成7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの女子で、真理の探究に対し強い憧憬と意欲を抱き、かつ、高等学校長が次の①又は②のいずれかに該当すると認め、責任をもって推薦できる者。</p> <p>① 調査書の学習成績概評がAの者</p> <p>② 志望学科における各専門領域の勉学に強い意欲を有する者</p>

注： 推薦を行う者については、高等学校長のほか高等専門学校長及び文部大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定された在外教育施設の長を含む。

3. 出願書類等

1	推薦入学出願カード	本学所定のもの。 (志願者名票、写真票、受験票)
2	あて名票2枚	合格通知等に使用するので、本学所定の用紙に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入すること。郵便切手は貼付しないでよい。
3	調査書	高等学校長が作成し、厳封したもの。
4	推薦書	本学所定の用紙に、高等学校長が作成し、厳封したもの。
5	志望理由書	本学所定のもの。
6	検定料	16,000円(郵便為替として受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。) 注) 1. 第1次選考の不合格者に対しては、12,500円を返還する。 2. 上記の1に該当する者は、平成8年3月31日までに申し出ること。 なお、上記1の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。
7	検定料納付書	本学所定の用紙(原符・領収証書)に必要事項を記入すること。
8	受験票返送用封筒	本学所定の封筒に350円切手(速達料を含む。)を貼付し、志願者の住所、氏名及び郵便番号を記入すること。

4. 出願上の注意

- (1) 国公立大学の推薦入学(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて)は1つの大学・学部しか出願できない。
- (2) 出願後の志望学部・学科等の変更は認めない。
- (3) 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

5. 出願方法

- (1) 出願書類の提出は、本学所定の封筒を用い、高等学校長が厳封の上、必ず書留速達で下記あてに郵送すること。

注 本学では出願書類を受理したときは、直ちに「受験票」を送付するので出願書類発送後7日間たっても未着のときは下記の出願書類送付先に問い合わせること。

- (2) 送付先

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学

文教育学部志願者	文教育学部事務部
理学部志願者	理学部事務部
生活科学部志願者	生活科学部事務部

6. 出願期間

文教育学部	平成7年11月1日(水)～11月8日(水) (締切日までの消印があれば有効)
理学部	平成7年11月1日(水)～11月7日(火) (締切日までの消印があれば有効)
生活科学部	

7. 選抜方法

選考は、次の第1次・第2次に分けて行う。

① 第1次選考

文教育学部 理学部 生活科学部	出願書類による書類選考を行い、平成7年11月22日(水)までに、その合格者には、「第1次選考合格通知書(第2次選考試験集合日時併記)」を、合格とならなかった者には、「第1次選考結果通知書」及び「検定料返還金請求書」を送付する。
-----------------------	---

② 第2次選考

文教育学部	第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文を平成7年11月29日(水)に、面接(口頭試問を含む。)を11月30日(木)に行い、書類選考及び小論文・面接の結果を総合して合否を判定する。
理学部	第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文(生物学科のみ)と面接(口頭試問を含む。)を平成7年12月1日(金)に行い、書類選考及び小論文・面接の結果を総合して合否を判定する。
生活科学部	第1次選考合格者に対し、志望学科による面接(口頭試問を含む。)を平成7年11月29日(水)に行い、書類選考及び面接の結果を総合して合否を判定する。

注 第1次選考合格者は、指定された時間までに「第1次選考合格通知書」及び「受験票」を持参の上、下記事務部に集合し係員の指示に従うこと。

文教育学部志願者	文教育学部事務部(文教育学部1号館)
理学部志願者	理学部事務部(理学部2号館)
生活科学部志願者	生活科学部事務部(生活科学部本館)

8. 合格発表等

- (1) 合格者の発表は、平成7年12月7日(木)正午頃、学内本部棟前掲示板に発表するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学関係書類」を、合格とならなかった者には「結果通知書」を送付し、併せて推薦高等学校長に被推薦者の合否を文書で通知する。(注 電話等による合否の問い合わせには一切応じない。)
- (2) 合格者は、本学及び他の国公立大学(私立産業医科大学を含む。)を受験することはできない。

9. 入学手続

- (1) 入学手続は、平成7年12月25日(月)又は12月26日(火)に完了すること。
入学手続を所定の期日までに完了しない場合は、入学を辞退した者として取り扱う。
- (2) 合格者が極めて特殊な事情により入学を辞退する場合は、入学手続に替えて、平成8年2月15日(木)までに、その理由を付した本学学長あての「推薦入学辞退願」(様式任意)を推薦をうけた高等学校長の連署を得て、当該学部の事務部に提出すること。
入学辞退が許可されない場合には、本学及び他の国公立大学(私立産業医科大学を含む。)を受験しても入学許可は得られないので注意すること。
- (3) 入学手続には、次の関係書類等が必要なので手続当日持参(代理人でも可)すること。
 - ① 提出書類 誓書・保証書
 - ② 入学料 270,000円
なお、授業料〔前期分223,800円(年額447,600円)〕の納入時期については、別途通知する。

10. 合格とならなかった場合の取扱い

合格とならなかった者で、一般志願者として国公立大学(私立産業医科大学を含む。)を受験しようとする者は、A日程、前期日程の大学・学部から1つ、B日程、後期日程の大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願することができる。
出願に当たっては、各大学・学部等により大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等が異なる場合があるので特に注意すること。

本学に出願する場合は、別途「平成8年度お茶の水女子大学学生募集要項」(11月中旬から配付予定)により、所定の出願書類等を平成8年1月22日(月)から1月31日(水)の期間内に、本学所定の封筒を用い書留速達で当該学部の事務部あてに郵送すること。

なお、推薦入学と同じ学部に出願する者は、必要関係書類等のうち、次に記載する書類等を郵送すればよい。

- ① 出願カード(「大学入試センター試験成績請求票(A用)」又は「(B用)」を貼付したもの。)
- ② 入学志願者マーク・カード
- ③ 検定料 16,000円
- ④ 検定料納付書
- ⑤ 受験票返送用封筒
- ⑥ 合格通知先あて名票

11. 出願等に関する問い合わせ先

出願等に関して不明な点があるときは、郵便により、返信用封筒(切手貼付のこと。)を同封して、下記あてに問い合わせること。

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学 文教育学部事務部 TEL (03) 5978-5162

お茶の水女子大学 理学部事務部 TEL (03) 5978-5287

お茶の水女子大学 生活科学部事務部 TEL (03) 5978-5722

○平成8年度お茶の水女子大学私費外国人留学生（学部留学生） 入学者選抜要項

1. 募集学部・学科

文教育学部	哲学科、史学科、地理学科、国文学科、外国文学科（中国文学・中国語学、 英文学・英語学、仏文学・仏語学）、教育学科（教育学、心理学）、 舞踊教育学科（舞踊教育学、音楽教育学）
理学部	数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科
生活科学部	生活環境学科、人間生活学科

（注）募集人員は、各学科とも若干名

2. 出願資格

次の(1)、(2)のすべてに該当する外国人女子

- (1) 平成7年度日本語能力試験（1級）及び平成8年度私費外国人留学生統一試験を受験した者
- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部大臣の指定した者
なお、日本において高等学校を卒業又は同等以上の資格を得た者は、日本人学生と同様に取り扱う。

3. 出願期間

平成7年12月11日（月）から平成7年12月19日（火）まで

4. 出願方法

- (1) 出願方法、学力検査等の細目については、平成7年11月上旬に発表予定の「平成8年度お茶の水女子大学私費外国人留学生（学部留学生）募集要項（細目）」を参照すること。
- (2) 出願書類等
 - ア. 出願カード（本学所定の用紙を用い、写真貼付のこと。）
 - イ. 最終出身校の成績証明書、卒業証明書及び関係教官の推薦書
 - ウ. 日本語による自筆の作文（1,000字以内で、留学の目的、専攻分野の内容、将来の計画等について。）
 - エ. 平成7年度日本語能力試験（1級）及び平成8年度私費外国人留学生統一試験の受験票の写し
 - オ. 健康診断書（本学所定の用紙を用い、出願3ヵ月以内に作成したもの）
 - カ. 出願時に日本国内に在住している者……外国人登録済証明書（在留資格・在留期間明記のもの）
出願時に日本国外に在住している者……戸籍謄本又は出生証明書等
 - キ. 検定料
 - ク. 受験票返送用封筒（本学所定の封筒に350円切手を貼付し志願者の住所氏名および郵便番号を記入すること。）

5. 入学者選抜方法

志願者全員に本学の入学試験を課し、その結果と日本語能力試験（1級）成績、私費外国人留学生統一試験成績、最終出身校の成績証明書、健康診断書等により総合して合格者を判定する。

6. 私費外国人留学生統一試験で受験を要する科目等

学 部	学 科	受 験 を 要 す る 科 目	受 験 を 要 す る 科 目 数
文教育学部	国 文 学 科 外 国 文 学 科 (中国文学・中国語学) (英文学・英語学) (仏文学・仏語学)	文 科 系	全 科 目
	哲 学 科 史 学 科 地 理 学 科 教 育 学 科 (教 育 学) (心 理 学) 舞 踊 教 育 学 科 (舞 踊 教 育 学) (音 楽 教 育 学)	文科系又は理科系のいずれかを選択	全 科 目
理 学 部	全 学 科	理 科 系	全 科 目
生活科学部	生 活 環 境 学 科	理 科 系	全 科 目
	人 間 生 活 学 科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全 科 目

7. 本学の入学試験

(1) 試験期日〔詳細については、本学私費外国人留学生(学部留学生)募集要項(細目)に明示する。〕
平成8年(1996年)2月25日(日)、26日(月)

(2) 学力検査教科・科目

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目
文 教 育 学 部	国 文 学 科	国語(国語Ⅰ・Ⅱ、古典) 日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	外 国 文 学 科 (英文学・英語学)	日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB)
	舞 踊 教 育 学 科 (舞踊教育学)	日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択) ※ 上記学力検査のほかに、実技検査を行う。
	舞 踊 教 育 学 科 (音楽教育学)	日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択) ※ 上記学力検査のほかに、実技検査を行う。

文 教 育 学 部	哲 学 科 史 学 科 地 理 学 科 外 国 文 学 科 (中国文学・中国語学) (仏文学・仏語学)	日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	教 育 学 科 (教 育 学) (心 理 学)	

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目
理	数 学 科	数学 (数学 I、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*) 日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	物 理 学 科	数学 (数学 I、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*) 理科 (物理) 日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
学	化 学 科	数学 (数学 I、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 理科 (「化学」と「物理、生物から1科目選択」) 日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	生 物 学 科	数学 (数学 I、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 理科 (「生物」と「物理、化学から1科目選択」) 日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
部	情 報 科 学 科	数学 (数学 I、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*) 数学・理科 (数学、物理、化学、生物から2科目選択) 日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	数学 (数学 I、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	人 間 生 活 学 科	日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)

(注) 学力検査科目欄の外国語 (英語、ドイツ語、フランス語) は、母国語を選択することはできない。

* 数学のうち確率・統計については、日本の高等学校学習指導要領の確率・統計の内容のうち「(1)資料の整理」、「(4)確率分布」及び「(5)統計的な推測」を除く。

(3) 実技検査

○ 舞踊教育学志望者に次の2種の検査を行う。

- ① ダンス（全員に課する）
 - ア. 与えられた基礎運動
 - イ. 創作（各種舞踊に基づいた創作も可）
- ② スポーツ（次のア～オから1種目を選択）
 - ア. 陸上競技（短距離走及び走り幅跳び）
 - イ. 器械運動（マット運動）
 - ウ. バレーボール
 - エ. バスケットボール
 - オ. テニス（硬式又は軟式）

○ 音楽教育学志望者に次の検査を行う。

- ① ソルフェージュ
 - ア. 聴音：1～4声部
 - イ. 新曲視唱
- ② 声楽
 - 下記の（i）、（ii）、（iii）のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。
 - （i）イタリア古典歌曲（原語）1曲を自由選択
 - （ii）イタリア古典歌曲（原語）1曲〔（i）に同じ〕、及び日本歌曲1曲をそれぞれ自由選択
 - （iii）イタリア古典歌曲（原語）1曲〔（i）に同じ〕、及びアリア（原語・原調）1曲を自由選択
 - なお、声楽は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜（複写譜も可）に氏名を明記して出願書類と一緒に提出すること。（返却しない。）
- ③ ピアノ
 - 下記の（i）、（ii）、（iii）のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。繰返しはしないこと。
 - （i）J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）から1曲を自由選択
 - （ii）J. S. バッハの作品1曲〔（i）に同じ〕、及びベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く。）
 - （iii）J. S. バッハの作品1曲〔（i）に同じ〕、及びショパンの練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択

(4) 口述試験

各学部とも口述試験を行う。

8. 私費外国人留学生（学部留学生）募集要項（細目）の請求方法

本学「平成8年度私費外国人留学生（学部留学生）募集要項（細目）」の配付は、平成7年11月上旬から行う。

〔郵送による請求方法〕

郵送を希望する者は270円切手を貼った返信用封筒角型2号（23.9×33.1 cm）に宛名を明記したものを同封の上、封筒の表に「私費外国人留学生（学部留学生）募集要項請求」と朱書きして、学務課留学生係へ請求すること。

請求先 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 学務課留学生係
☎ 03-5978-5143（留学生係）

**○平成8年度お茶の水女子大学文教育学部第3年次編入学
(社会人特別選抜を含む) 学生募集要項**

お茶の水女子大学文教育学部では、広く社会に開かれたリフレッシュ教育の必要性、より高度の学習機会を求める女性の意欲の高まりに応えるため、平成8年度から下記のとおり、一般選抜並びに社会人特別選抜により、第3年次編入学生の募集をすることにしました。

本学部は、人文科学・社会科学（一部自然科学を含む）の諸領域にわたる多彩な専門的研究成果を、総合的な視野から教授し、社会の諸分野で活躍する人材の育成に努めることを教育の基本方針としています。

各学科が求める資質と能力を備え、強い学習意欲をもつ方々が、自己実現を目指した生涯学習の機会として利用されることを期待します。

I 一般選抜

1. 募集人員

学 科		募 集 人 員
哲 学 科		} 若 干 名
史 学 科		
地 理 学 科		
国 文 学 科		
外国文学科	中国文学・中国語学	
	英文学・英語学	
	仏文学・仏語学	
教育学科	教 育 学	
	心 理 学	
舞踊教育学科	舞 踊 教 育 学	
	音 楽 教 育 学	

2. 出 願 資 格

次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成8年3月卒業見込の者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成8年3月卒業見込の者
- (3) 高等専門学校を卒業した者及び平成8年3月卒業見込の者
- (4) 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者及び平成8年3月修得見込の者
- (5) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び修了見込の者

3. 出 願 期 間

平成7年11月15日(水)から平成7年11月21日(火)まで (必着のこと)

4. 出 願 手 続

(1) 提出書類等

- ① 編入学願書 本学所定の用紙
- ② 志望理由書 本学所定の用紙
- ③ 卒業(見込)証明書, 在学証明書又は退学証明書
- ④ 成績証明書 出身大学等の長が作成し厳封したもの
- ⑤ 健康診断書 本学所定の用紙(出願時以前3ヶ月以内に作成したもの)
- ⑥ 検 定 料 28,000円(郵便為替として受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。)
- ⑦ 検定料納付書 本学所定の用紙(原符・領収証書)に必要事項を記入すること。
- ⑧ 受 験 票 あて先を明記して、350円切手(速達料を含む。)を貼った定型郵便送用封筒を同封すること。

(2) 出 願 方 法

出願書類を一括して、必ず書留で文教育学部事務部あてに郵送すること。

なお、『文教育学部第3年次編入学願書』と朱書すること。

送付先 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学文教育学部事務部

5. 選 抜 方 法

選考は、次の第1次・第2次に分けて行う。

(1) 第1次選考

試験期日 平成7年11月29日(水)

時間割

学 科		筆 記 試 験
		10:30 ~ 12:00
哲 学 科		外国語(英,独,仏語の中から1か語)を含む専門試験
史 学 科		英語を含む専門試験
地 理 学 科		英語を含む専門試験
国 文 学 科		国語・国文学の専門試験
外国文学科	中国文学・中国語学	現代中国語・古典中国語
	英文学・英語学	英 語
	仏文学・仏語学	フランス語
教育学科	教 育 学	英語を含む専門試験
	心 理 学	英語を含む専門試験・基礎統計学
舞踊教育学科	舞 踊 教 育 学	英語を含む専門試験
	音 楽 教 育 学	音楽史・外国語(英,独,仏語の中から1か語)

※ 第1次選考の結果は、平成7年12月9日(土)までに、その合格者には、「第1次選考合格者通知書」を、合格とならなかった者には、「第1次選考結果通知書」を送付する。

(2) 第2次選考

試験期日 平成7年12月12日(火) 10時30分 ~

第1次選考合格者に対し、志望学科による口述試験及び実技試験(舞踊教育学科のみ)を行い、第1次選考の成績と口述及び実技試験の結果を総合して合否を判定する。

※ 第1次選考合格者は、「第1次選考合格者通知書」及び「受験票」を持参の上、文教教育学部事務部に集合し係員の指示に従うこと。

実 技 試 験

- 舞踊教育学志望者に次の試験を行う。

- ① ダンス（全員に課する）
ア. 与えられた基礎運動
イ. 創作（各種舞踊に基づいた創作も可）
- ② スポーツ（次のア～オから1種目を選択）
ア. 陸上競技（短距離走及び走り幅跳び）
イ. 器械運動（マット運動）
ウ. バレーボール
エ. バスケットボール
オ. テニス（硬式又は軟式）

※ 実技試験に必要な服装、靴、用具を持参のこと。

- 音楽教育学志望者に次の試験を行う。

- ① ソルフェージュ
ア. 聴音：1～4声部
イ. 新曲視唱
- ② 声 楽
下記の（i）、（ii）、（iii）のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。
（i）イタリア古典歌曲（原語）1曲を自由選択
（ii）イタリア古典歌曲（原語）1曲〔（i）に同じ〕及び日本歌曲1曲をそれぞれ自由選択
（iii）イタリア古典歌曲（原語）1曲〔（i）に同じ〕及びアリア（原語・原調）1曲を自由選択
なお、声楽は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜（複写譜も可）に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない。）
- ③ ピアノ
下記の（i）、（ii）、（iii）のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。繰返しはしないこと。
（i）J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）から1曲を自由選択
（ii）J. S. バッハの作品1曲〔（i）に同じ〕及びベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く。）
（iii）J. S. バッハの作品1曲〔（i）に同じ〕及びショパンの練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択

Ⅱ 社会人特別選抜

1. 募集人員

学 科		募集人員
哲 学 科		} 若 干 名
史 学 科		
地 理 学 科		
国 文 学 科		
外国文学科	中国文学・中国語学	
	英文学・英語学	
	仏文学・仏語学	
教育学科	教 育 学	
	心 理 学	
舞踊教育学科	舞 踊 教 育 学	
	音 楽 教 育 学	

2. 出 願 資 格

入学時に社会人としての経験を3年以上有し、次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者又は大学に2年以上在籍し、62単位以上修得した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者

3. 出 願 期 間

平成7年11月15日(水)から平成7年11月21日(火)まで (必着のこと)

4. 出 願 手 続

(1) 提出書類等

- ① 編入学願書 本学所定の用紙
- ② 志望理由書 本学所定の用紙。社会人としての活動(収入を伴わない活動を含む)と関連させて志望動機を書くこと。
- ③ 卒業証明書又は退学証明書
- ④ 成績証明書 出身大学等の長が作成し厳封したもの
- ⑤ 健康診断書 本学所定の用紙(出願時以前3ヶ月以内に作成したもの)
- ⑥ 在職証明書 在職中の者は在職証明書を提出すること。(様式は特に定めない)
- ⑦ 検定料 28,000円(郵便為替として受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。)
- ⑧ 検定料納付書 本学所定の用紙(原符・領収証書)に必要事項を記入すること。
- ⑨ 受験票返信用封筒 あて先を明記して、350円切手(速達料を含む。)を貼った定型郵便物用封筒を同封すること。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず書留で文教育学部事務部あてに郵送すること。
なお、『文教育学部第3年次(社会人特別選抜)編入学願書』と朱書すること。

送付先 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学文教育学部事務部

5. 選 抜 方 法

選考は、次の第1次・第2次に分けて行う。

(1) 第1次選考

試験期日 平成7年11月29日(水)

時間割

学 科		筆 記 試 験
		10:30 ~ 12:00
哲 学 科		外国語(英,独,仏語の中から1か語)を含む専門試験
史 学 科		論述試験
地 理 学 科		英語を含む専門試験
国 文 学 科		国語・国文学の専門試験
外国文学科	中国文学・中国語学	現代中国語・古典中国語
	英文学・英語学	英 語
	仏文学・仏語学	フランス語
教育学科	教 育 学	英語を含む専門試験
	心 理 学	英語を含む専門試験・基礎統計学
舞踊教育学科	舞 踊 教 育 学	英語を含む専門試験
	音 楽 教 育 学	音楽史・外国語(英,独,仏語の中から1か語)

※ 第1次選考の結果は、平成7年12月9日(土)までに、その合格者には、「第1次選考合格者通知書」を、合格とならなかった者には、「第1次選考結果通知書」を送付する。

(2) 第2次選考

試験期日 平成7年12月12日(火) 10時30分 ~

第1次選考合格者に対し、志望学科による口述試験及び実技試験(舞踊教育学科のみ)を行い、第1次選考の成績と口述及び実技試験の結果を総合して合否を判定する。

※ 第1次選考合格者は、「第1次選考合格者通知書」及び「受験票」を持参の上、文教育学部事務部に集合し係員の指示に従うこと。

実 技 試 験

- 舞踊教育学志望者に次の試験を行う。

- ① ダンス（全員に課する）
ア. 与えられた基礎運動
イ. 創作（各種舞踊に基づいた創作も可）
- ② スポーツ（次のア～オから1種目を選択）
ア. 陸上競技（短距離走及び走り幅跳び）
イ. 器械運動（マット運動）
ウ. バレーボール
エ. バスケットボール
オ. テニス（硬式又は軟式）

※ 実技試験に必要な服装、靴、用具を持参のこと。

- 音楽教育学志望者に次の試験を行う。

- ① ソルフェージュ
ア. 聴音：1～4声部
イ. 新曲視唱
- ② 声 楽
下記の（i）、（ii）、（iii）のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。
（i）イタリア古典歌曲（原語）1曲を自由選択
（ii）イタリア古典歌曲（原語）1曲〔（i）に同じ〕及び日本歌曲1曲をそれぞれ自由選択
（iii）イタリア古典歌曲（原語）1曲〔（i）に同じ〕及びアリア（原語・原調）1曲を自由選択
なお、声楽は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜（複写譜も可）に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない。）
- ③ ピアノ
下記の（i）、（ii）、（iii）のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。繰返しはしないこと。
（i）J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）から1曲を自由選択
（ii）J. S. バッハの作品1曲〔（i）に同じ〕及びベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く。）
（iii）J. S. バッハの作品1曲〔（i）に同じ〕及びショパンの練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択

Ⅲ 合格発表等

1. 合格者の発表

- (1) 12月14日(木)正午の予定。文教育学部1号館内掲示板に掲示するとともに合格者には、「合格通知書」を、合格とならなかった者には、「結果通知書」を送付する。
- (2) 入学手続関係書類は、平成8年3月中旬に送付する。

2. 入学料及び授業料

- (1) 入学料 270,000 円
- (2) 授業料年額 411,600 円

3. 修学条件

入学の時期は平成8年4月とし、編入学後2年以上4年以内に本学文教育学部履修規程に定める授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した者については、学士(人文科学)の学位を授与する。

4. 注意事項

- (1) 出願書類等の請求は、190円切手を貼った返信用封筒角型2号(23.9cm×33.1cm)に宛名を明記したものを同封し、『文教育学部第3年次編入学願書請求』と朱書すること。
- (2) 出願手続後の書類の変更及び検定料の払戻は認めない。
- (3) 合格、不合格に関する問い合わせには一切応じない。

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学文教育学部事務部
☎ (03) 5978-5162~3

○平成8年度お茶の水女子大学理学部第3年次編入学 (社会人特別選抜を含む) 学生募集要項

お茶の水女子大学理学部では、平成8年度から第3年次編入学試験を実施することになりました。

本学部では、社会における女性の地位向上と相まって要請されている、高度な学識と広い視野を持つ女子学生の育成を目指してきました。高等教育の多様化の一環として、既に社会人として活躍しておられる方々のリカレント教育や、短期大学・高等専門学校を卒業して更に深い専門知識を求めようとする方に、より高度な理学部専門教育の機会を提供することが、この制度の趣旨であります。

これが、自然科学の修学を目指す女性の方々の更なる高みへの飛翔の出発点となることを期待いたします。

Ⅰ 一般選抜

1. 募集人員

学 科	募集人員
数 学 科	若 干 名
物 理 学 科	若 干 名
化 学 科	若 干 名
生 物 学 科	若 干 名
情報科学科	若 干 名

2. 出願資格

次のいずれかに該当する女子とする。

学 科	出 願 資 格
数 学 科 物 理 学 科 化 学 科 生 物 学 科	(1)大学を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者 (2)短期大学を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者 (3)高等専門学校を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者 (4)外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び 修了見込みの者 (5)平成8年3月までに大学に2年以上在学し、62単位以上修得見込の者
情報科学科	(1)大学を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者 (2)短期大学を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者 (3)高等専門学校を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者 (4)外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び 修了見込みの者

3. 出願期間

平成7年11月15日(水)から平成7年11月21日(火)まで。(必着のこと)

4. 出願手続

(1) 提出書類等

編入学願書	本学所定の用紙
志望理由書	本学所定の用紙
卒業（見込）証明書又は在学証明書	
成績証明書	
健康診断書	本学所定の用紙
検 定 料	28,000 円（郵便為替）
返信用封筒	あて先を明記して、350円切手を貼った定型郵便物用封筒を同封すること。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず書留で理学部事務部あてに郵送すること。

なお、『理学部第3年次編入学願書』と朱書すること。

お茶の水女子大学理学部事務部

〒 112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

☎ 03 (5978) 5287~8

5. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）及び成績証明書等を総合して判定する。

学科名	11月29日（水）	
	試験科目	時 間
数 学 科	数 学*	10:00~12:00
	英 語	13:00~14:00
	口述試験	15:00~
物 理 学 科	数 学	9:00~10:30
	物 理 学	10:40~12:10
	口述試験	13:30~
化 学 科	化 学	10:00~12:00
	英 語	13:00~14:00
	口述試験	15:00~
生 物 学 科	小 論 文	10:00~12:00
	英 語	13:00~14:00
	口述試験	15:00~
情 報 科 学 科	数 学	9:00~10:30
	情 報**	10:40~12:10
	英 語	13:00~14:00
	口述試験	15:00~

* 微分・積分，行列と行列式

** 情報処理2種程度

II 社会人特別選抜

1. 募集人員

学 科	募集人員
数 学 科	} 若 干 名
物 理 学 科	
化 学 科	
生 物 学 科	
情 報 科 学 科	

2. 出願資格

入学時に社会人としての経験を1年以上有し、次のいずれかに該当する女子とする。

学 科	出 願 資 格
数 学 科	(1)大学を卒業した者
物 理 学 科	(2)短期大学を卒業した者
化 学 科	(3)高等専門学校を卒業した者
生 物 学 科	(4)外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者
情 報 科 学 科	

なお、入学時において現職のまま入学しようとする者は、入学手続の際に企業等の所属長の入学承諾書（様式随意）を提出すること。

3. 出願期間

平成7年11月15日（水）から平成7年11月21日（火）まで。（必着のこと）

4. 出願手続

(1) 提出書類等

編入学願書	本学所定の用紙
志望理由書	本学所定の用紙
卒業証明書	
成績証明書	
健康診断書	本学所定の用紙
検 定 料	28,000 円（郵便為替）
返信用封筒	あて先を明記して、350円切手を貼った定型郵便物用封筒を同封すること。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず書留で理学部事務部あてに郵送すること。
なお、『理学部第3年次(社会人特別選抜)編入学願書』と朱書すること。

お茶の水女子大学理学部事務部

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

☎ 03(5978)5287~8

5. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査(筆記試験・口述試験)及び成績証明書等を総合して判定する。

なお、詳細については、理学部事務部へ問い合わせること。

学科名	11月29日(水)	
	試験科目	時間
数学科	数学*	10:00~12:00
	英語	13:00~14:00
	口述試験	15:00~
物理学科	数学	9:00~10:30
	物理学	10:40~12:10
	口述試験	13:30~
化学科	化学	10:00~12:00
	英語	13:00~14:00
	口述試験	15:00~
生物学科	小論文	10:00~12:00
	英語	13:00~14:00
	口述試験	15:00~
情報科学科	数学	9:00~10:30
	情報**	10:40~12:10
	英語	13:00~14:00
	口述試験	15:00~

* 微分・積分, 行列と行列式

** 情報処理2種程度

Ⅲ 合格発表等

1. 合格者の発表

- (1) 12月7日(木)正午の予定。理学部1号館内掲示板に掲示する。
合格者には、合格通知書を郵送する。
- (2) 入学手続関係書類は、平成8年3月中旬に送付する。

2. 入学料及び授業料

- (1) 入学料 270,000 円
- (2) 授業料年額 411,600 円

3. 修学条件

入学の時期は平成8年4月とし、編入学後2年以上4年以内に本学理学部履修規程に定める授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した者については、学士(理学)の学位を授与する。

4. その他

- (1) 出願後、書類の変更及び検定料の払戻は行わない。
- (2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、190円切手を貼った角型2号封筒(23.9cm×33.1cm)を同封すること。
- (3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒(切手貼付)を同封し、必ず返信先を明記すること。

10. 大学所在地案内

都営バス	大塚2丁目停留所前
地下鉄	丸の内線 茗荷谷駅 徒歩約5分
”	有楽町線 護国寺駅(音羽口) 徒歩約5分

お茶の水女子大学理学部履修概要

1. 履修方法及び課程の修了

- (1) 卒業するためには、本学理学部履修規程に定めるところにより、124単位以上を修得しなければならない。
- (2) 本学部に編入学前に在学した大学等において修得した単位については、本学部の定める基準に従って卒業要件単位として認定する。
- (3) 卒業に必要な単位を修得した者については、学士（理学）の学位を授与する。

2. 各学科の授業科目

学 科	専 攻 科 目 (必 修)
数 学 科	初等代数学, 線形代数, 同演習, 微分積分学, 同演習, 微分積分学統論, 同演習, 線形代数統論, 幾何学序論, 同演習, 位相空間論, 同演習, 離散数学, 同演習, 関数論, 同演習, 現代数学講話, 数学講究
物 理 学 科	古典力学, 解析力学, 力学系理論, 電磁気学Ⅰ・Ⅱ, 物理数学Ⅰ・Ⅱ, 数理物理学, 量子力学Ⅰ・Ⅱ, 多体系量子力学, 熱・統計力学, 量子統計力学, 固体電子論, 相転移物理学, 凝縮系物理学, 原子核物理学, 素粒子物理学, 基礎物理学実験, 物理学実験, 特別研究
化 学 科	基礎物理化学, 定量分析化学・化学平衡論, 構造有機化学, 基礎無機化学, 構造生化学, 構造物理化学, 物性物理化学, 機器測定法, 反応有機化学, 構造無機化学, 生体分子反応学, 分子分光学, 基本化学実験, 無機化学実験, 分析化学実験, 有機化学実験, 物理化学実験, 生物化学実験, 化学演習, 特別研究
生 物 学 科	生化学, 生物物理学, 動物系統学, 植物形態学, 植物生理学, 基礎遺伝学, 分子遺伝学, 分子細胞生物学, 代謝生物学, 細胞生物学, 動物生理学, 発生生物学, 生物学実習Ⅰ・Ⅱ, 生物学演習, 特別研究
情報科学科	線形代数, 微分積分学, 数理基礎論, 計算機システム序論, データ構造とアルゴリズム, 確率序論, 関数論, 離散数学, プログラム作成実習, 自然情報基礎論, 数値解析, 情報理論, 計算基礎論, オペレーティングシステム, 言語理論とオートマトン, 特別研究

※ 上記授業科目以外に、専攻科目（選択）、関連科目が多数開講されている。

○平成8年度お茶の水女子大学生生活科学部第3年次編入学 学生募集要項

お茶の水女子大学生生活科学部では、平成8年度から第3年次編入学試験を実施することになりました。

本学部では、社会における女性の地位向上と相まって要請されている、高度な学識と広い視野を持つ女子学生の育成を目指してきました。高等教育の多様化の一環として、既に社会人として活躍している方々のリカレント教育や、短期大学及び高等専門学校を卒業して、更に深い専門知識を求めようとする方々へ、より高度な生活科学の専門教育の機会を提供することがこの制度の趣旨です。

1. 募集人員

学 科	募集人員
生活環境学科	若 干 名
人間生活学科	若 干 名

2. 出願資格 次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者
- (3) 高等専門学校を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び修了見込みの者
- (5) 平成8年3月までに大学に2年以上在学し、62単位以上修得見込みの者

3. 出願期間

平成7年11月15日（水）から平成7年11月21日（火）まで。（必着のこと）

4. 出願手続

(1) 出願書類等

編入学願書	本学所定の用紙
志望理由書	本学所定の用紙
卒業（又は見込）証明書又は在学証明書	
成績証明書	
健康診断書	本学所定の用紙
検 定 料	28,000 円（郵便為替）
返信用封筒	あて先を明記して、350 円切手を貼った定型郵便物用封筒を同封すること。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず書留で生活科学部事務部あてに郵送すること。

なお、『生活科学部第3年次編入学願書』と朱書すること。

お茶の水女子大学生生活科学部事務部

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

TEL 03 (5978) 5722～3

5. 選抜方法

学力検査（筆記試験）及び成績証明書等を総合して、第一次合格者を判定し、第一次合格者に面接試験を行って最終合格者を決定する。

○ 第一次試験（筆記試験）

学 科	11月29日（水）	
	試験科目	時 間
生活環境学科	英語（一般） 自然科学*	9：30～12：00
人間生活学科	英語（一般） 英語（分野別）	9：30～12：00

* 物理・化学・生物に関する基礎知識

○ 第二次試験（面接試験） 平成7年12月20日（水）

6. 合格者の発表

- (1) 第一次試験合格発表 平成7年12月15日（金）までに第一次選考合格通知書を送付する。
- (2) 第二次試験合格発表 平成8年1月18日（木）正午の予定。生活科学部掲示板に掲示するとともに合格者には、合格通知書を郵送する。
入学手続関係書類は、平成8年3月中旬に送付する。

注）電話等による可否の問い合わせには一切応じない。

7. 入学料及び授業料

- (1) 入 学 料 270,000 円
- (2) 授業料年額 411,600 円

8. 修学条件

入学の時期は平成8年4月とし、編入学後2年以上4年以内に本学生活科学部履修規程に定める授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した者については、学士（生活科学）の学位を授与する。

9. そ の 他

- (1) 出願後、書類の変更及び検定料の払戻は行わない。
- (2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、390 円切手を貼った角型2号封筒(23.9 cm×33.1cm)を同封すること。
- (3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒（切手貼付）を同封し、必ず返信先を明記すること。

○平成7年度お茶の水女子大学公開講座要項

1. 講座名 「地球環境と食糧問題」

講座のねらい

「環境」という言葉は、新聞・テレビによく登場し、世界政治の一つの重要な目標になっていますが、個々人の間では「環境問題」とくに「地球環境問題」は少しく離れた所にあるという感が強いようです。そして、「地球環境」は専門家や行政、または企業にゆだねるという気持ちが強いように思われます。

そこで、この講座では人類生存のための究極の資源—食料の生産を支える地球環境が人類の活動によってどのように劣化しているかを、最新の科学的データを用いて説明します。爆発する人口と肥大する物質的欲望のために、あらゆる資源への需要は鰻登りに増大しています。これを満たすため地球上のすべてを人類の資源にする地球資源化技術は、いまや暴走状態ともいえるようです。

このため、46億年の地球進化と35億年の生物進化を背景に準備されてきた地球の原景観そして生物相は、日一日と私たちの視界から消えています。これは、近い将来さらに加速されることはあっても、減速されることは予想出来ません。そして、食料生産の土台である地球気候及び地球生態系に破局的変化をもたらす心配があります。

この講座が、人口爆発と肥大する物質的欲望によって迫りくる地球環境の破局を認識し、その回避のために自らの生活を考えなおす契機となることを希望します。

2. 講師

宮崎公立大学教授、前 お茶の水女子大学教授

内嶋 善兵衛

3. 日程

平成7年9月2日（土）

午後1時30分～午後4時40分

4. 受講資格

社会人を対象として、学歴、資格、性別を問いません。
(社会人を対象としていますが、学生の方の受講も可能です。)

5. 募集人員 150名

6. 受講料 3,700円

7. 会場 お茶の水女子大学 理学部3号館7階 大講義室

○平成7年度お茶の水女子大学公開講座のご案内

1. 講座名 「ピアノ上達対策」

— ピアノを学ぶ子どもをもつ親と
ピアノを教え始めた先生方のために —

講座のねらい

保護者の方々とピアノを教える若い先生方に、有効なピアノ上達のためのテクニックを、音を使って指導ポイントを解説します。
〔誰にでも分かりやすい内容であり、音楽を専門とする学生にも役立つ講座で、いかに楽しく満足する演奏ができるか、その上達方法を探ります。〕

2. 講師
お茶の水女子大学
文教育学部 ピアノ演奏学教授

遠藤 秀一郎

3. 日程

平成7年9月9日（土）

午後1時30分～午後4時40分

4. 受講資格

社会人を対象として、学歴、資格、性別を問いません。
(社会人を対象としていますが、学生の方の受講も可能です。)

5. 募集人員 200名

6. 受講料 3,700円

7. 会場 お茶の水女子大学 学生会館ホール

○平成7年度お茶の水女子大学公開講座のご案内

1. 講座名 「体験 インターネット」

講座のねらい

高度情報社会といわれる現在、情報通信ネットワークの果たす社会的役割はますます重要となってきています。また最近「インターネット」と呼ばれる世界中の大学・研究機関、政府関係機関、企業等のコンピュータを有機的に結合する広域ネットワークが新聞・テレビの話題になってきています。「インターネット」はそれ自身巨大なデータベースであり様々な可能性を秘めています。

本講座では、この「インターネット」の仕組みや利用法を本学情報処理センターの機器を用いて実際に利用することにより、巨大なマルチメディア・データベースの世界を体験し、今後の可能性について考えて行きたいと思えます。

2. 講師

お茶の水女子大学	理学部	教授	佐藤	浩史
	理学部	助教授	藤代	一成
	理学部	助教授	粕川	正充
	理学部	助教授	浅本	紀子

3. 日程

平成7年9月30日（土）

平成7年10月7日（土）

両日とも午後1時30分～午後4時40分

4. 受講資格

社会人を対象として、学歴、資格、性別を問いません。
(社会人を対象としていますが、学生の方の受講も可能です。)

5. 募集人員 80名

6. 受講料 4,700円(2日間で)

7. 会場 お茶の水女子大学 理学部3号館6階 大実習室

○平成7年度お茶の水女子大学公開講座のご案内

1. 講座名 「女性と戦後50年」

お茶の水女子大学は、明治以来、日本の女子教育のひとつの中心として、多くの優れた人材を社会に送り出すとともに、学術研究の分野でも着実な成果を挙げてきました。この講座は本学の創立120周年記念行事の一環として企画されたものです。

講座のねらい

戦後の日本の復興とその後の経済的な繁栄、そして、それに伴う社会の変動の中で、女性の生活にも大きな変化が生じました。価値観が多様化し、ライフスタイルの自由な選択が可能になった現代ほど、真に実り多い生き方が模索される時代はありません。家庭や社会にあってこの半世紀の間に女性が手にいれたものは、いったい何だったのでしょうか。これから21世紀に向かって、女性の活動は世界をどのように動かし、どのように変えていくのでしょうか。今、女性も男性も含めた私たちみんなに必要なことは、過去からつながる現在の状況を正確に把握すること、そして、誰もが主体的に未来の創造に関わり、進むべき道を選び取っていくことではないでしょうか。

本講座では、経済、社会、文学、教育、生活環境、女性学および、実践的な社会活動といった様々な視点に立って、女性の「戦後50年」を振り返り、時代の流れの中に見え隠れする諸問題を整理して、よりよい社会と暮らしを築いていくための指針にできればと考えています。

2. 講師

お茶の水女子大学 女性文化センター教授	原 ひろ子
元東京都立豊多摩高等学校 教諭	坂口 郁
お茶の水女子大学 文教育学部 助教授	大塚 常樹
お茶の水女子大学 生活科学部 教授	湯沢 雍彦
佐賀県立女性センター長 佐賀県立生涯学習センター長	船橋 邦子
前お茶の水女子大学 教授	水谷 信子
お茶の水女子大学 文教育学部 助教授	坂本 佳鶴恵
埼玉大学 名誉教授	山崎 美和恵
お茶の水女子大学 生活科学部 教授	袖井 孝子
昭和女子大学短期大学部学長 お茶の水女子大学名誉教授	福場 博保
お茶の水女子大学 生活科学部 教授	篠塚 英子
お茶の水女子大学 文教育学部 教授	小川 剛

3. 日程・講義内容

平成7年 10月14日 (土)
 10月21日 (土)
 10月28日 (土)
 11月18日 (土)
 11月25日 (土)
 12月 2日 (土) } 全6日間

全日とも午後1時30分～午後4時40分

10月14日 (土) 原 ひろ子 坂口 郁	基調公演—女性と戦後50年 戦時下の女学生の生活と戦後の女性解放
10月21日 (土) 大塚 常樹 湯沢 雍彦	女流詩人にみる戦後50年 家族と女性の戦後史
10月28日 (土) 船橋 邦子 水谷 信子	女性の社会活動 (女性の人権とNGO) 日本語教育と女性
11月18日 (土) 坂本 佳鶴恵 山崎 美和恵	映画にみる戦後日本の家族イメージと女性 湯浅年子博士の科学と芸術
11月25日 (土) 袖井 孝子 福場 博保	女性と高齢化社会 食生活
12月 2日 (土) 篠塚 英子 小川 剛	フェミニズムの経済学 "あたりまえの女"たちが学び始めた時

4. 受講資格

社会人を対象として、学歴、資格、性別を問いません。
 (社会人を対象としていますが、学生の方の受講も可能です。)

5. 募集人員 200名

6. 受講料 6,700円 (6日間で)

7. 会場 お茶の水女子大学 共通講義棟2号館

○平成7年度科学研究費補助金配分決定一覽

研究種目	研究所 所属・ 代表者 職名	氏名	決定額 (千円)	研究課題
重点領域(1)	理学部教授	細矢治夫	8,700	分子集合体の化学反応理論
"	生活科学部教授	無藤隆	1,400	自己と他者の知識の獲得と言語発達との関連性：1歳から3歳までの縦断的研究
"	理学部教授	富永靖徳	1,000	水溶液系の低温状態における水のダイナミクス
重点領域(2)	理学部講師	小木首啓示	800	3次元カラビーヤウ多様体の研究
"	理学部教授	真島秀行	800	一般Airy関数系とJonesの指数理論
"	理学部助教授	出口哲生	1,200	可解格子模型と結び目理論の研究およびその基礎物性理論への応用
"	理学部教授	福田豊	2,200	遷移金属と希土類イオンを含む多核錯体の合成と物性
"	理学部教授	浜谷望	2,000	四面体分子からなる分子性結晶の圧力誘起非晶質化過程の研究
"	理学部助教授	今野美智子	1,700	tRNAとaaRSの複合体形成の初期過程としてアンチコドンの識別機構の重要性
"	理学部講師	室伏きみ子	2,200	新しいストレスタンパク質HSP66の細胞分化における役割とその発現調節機構
総合研究(A)	文教育学部教授	大口勇次郎	900	比較女性史の視点からみた江戸時代における武家及び庶民の家族に関する総合的研究
"	理学部教授	前田侯子	1,800	高効率発光を指向した化学発光・生物発光の基礎研究
"	生活科学部教授	無藤隆	3,000	幼稚園と小学校における身近な環境への関わりと総合的な学習の研究
一般研究(B)	文教育学部教授	宮尾正樹	1,200	ジェンダーの枠組による中国近現代史再検討のための基礎的研究
"	生活科学部教授	無藤隆	1,100	保育における人間関係の成立
"	人文科学研究科教授	長友和彦	900	児童・生徒・学生及び日本語学習者の作文能力の発達過程に関する研究
"	人文科学研究科教授	平田悦朗	1,100	日本語学習者の文の予測能力に関する研究及び読解力・聴解力向上のための教材開発
"	文教育学部教授	天野正子	2,500	高齢者と女性を中心とする新しい“働き方”についての研究

研究種目	研究所 所属・職名	氏名	決定額 (千円)	研究課題
一般研究(B)	文教育学部教授	藤山和子	4,900	総合的漢字研究のための『説文解字』のデータベース化と、それを利用した基礎的研究
"	理学部教授	福田豊	4,700	多核金属錯体の立体構造制御とクロモトロピズム
"	生活科学部助教授	畑江敬子	7,400	加熱機器の伝熱特性の解析と焼き魚の評価システムの開発
"	生活科学部助教授	久保田紀久枝	5,400	アジアのエスニック料理における香辛料利用の健康的意義
一般研究(C)	理学部教授	菅本晶夫	500	ウィークボソン対生成過程における重いニュートリノの効果
"	文教育学部教授	内田伸子	600	幼児期の概念化を規定する知覚的類似性の検討
"	理学部教授	益田祐一	600	混合原子価二核フェロセン錯体の分子内電子移動速度に対する溶媒の動的効果
"	生活環境研究センター教授	五十嵐脩	700	α -トコフェロール立体異性体の生体内における分布と識別
"	理学部講師	室伏きみ子	1,000	リゾホスファチジン酸による細胞増殖の制御
"	文教育学部助教授	石口彰	1,400	視覚決定過程における統計的特性
"	生活科学部教授	利谷信義	1,100	女性と財産－取得原因・資産形成過程・資産所有の現状－
"	理学部助教授	榎本陽子	1,200	アルペリン予想とパーフェクトアイソメトリー
"	理学部助教授	吉田裕亮	1,000	既約作用素因子環の構成に関する研究
"	理学部教授	高村幸男	1,500	非回帰的空間の非放物型方程式
"	理学部教授	笠原勇二	2,000	点過程の方法による多変数確率過程の研究
"	理学部教授	富永靖徳	1,900	高圧力下における水の動的構造
"	理学部助教授	鷹野景子	1,700	ポリハロゲン化合物の結合様式と反応性
"	理学部教授	永野肇	900	ルイス酸を用いたラジカル反応の立体制御
"	理学部講師	松浦悦子	1,400	ショウジョウバエを用いたミトコンドリアの複製の制御機構の解析

研究種目	研究所 所属・職名	氏名	決定額 (千円)	研究課題
一般研究(C)	生活科学部助教授	村田容常	2,000	リンゴの褐変の機構とその制御：リンゴポリフェノールオキシダーゼの構造と発現機構
〃	生活科学部教授	中島利誠	2,500	着心地に及ぼす発汗挙動の影響
〃	生活科学部助手	香西みどり	2,200	根菜類の軟化に対する新しい速度論的モデルの構築と最適加熱時間の予測への適用
〃	生活科学部助教授	大塚恵	2,500	アレルギー反応の誘因物質に対するビタミンCの作用
〃	生活科学部教授	荒川信彦	2,200	脂質過剰摂取による弊害とその改善に関する栄養学的研究
〃	生活科学部助教授	長谷部ヤエ	1,000	心電図R-R間隔変動による熱的快適性の評価
〃	生活科学部助手	山野春子	1,500	紫外線遮蔽加工製品の生体に対する効果の生化学的測定
一般研究(C) 萌	理学部教授	石和貞男	800	ショウジョウバエの嗅覚レセプター遺伝子のクローニングとその進化集団遺伝学的研究
〃	人文科学研究科助教授	西澤奈津子 (古)	1,500	古代日本における書状の系譜－正倉院文書から繪旨まで－
一般研究(C) 時	理学部教授	太田隆夫	500	反応拡散系における自己組織的パルス波形成
〃	理学部教授	藤枝修子	2,300	微小重力場における非線形化学振動反応の実験的研究
奨励研究(A)	文教育学部助教授	坂本佳鶴恵	1,000	メディアをめぐる戦後日本のジェンダー分析～テレビにおける家族像とジェンダー～
〃	文教育学部助手	山田純恵	1,000	戦前期の女子「公民科」教育論に関する研究－女子「公民」像の分析を中心に－
〃	人間文化研究科助手	西野由希子	900	中国で発行された英文紙誌の体系的な調査と研究
〃	理学部講師	小木曾啓示	1,200	3次元カラビヤウ多様体の代数幾何学的研究
〃	理学部助教授	小野薫	100	閉道空間上の汎関数の幾何学
〃	理学部助教授	山田眞二	1,000	ねじれ型アミドの合成とヒドロキシル基の選択的アシル化への利用
〃	生活科学部助教授	田邊新一	1,000	オフィスにおける湿度が温熱感に与える影響に関する研究

研究種目	研究所属・職名	氏名	決定額(千円)	研究課題
奨励研究(A)	理学部助手	小島京子	900	神経栄養因子アネキシンVの認識するニューロン表面の糖鎖リガンド
〃	理学部助手	清本正人	1,000	ウニ胚の骨片形成に必要な因子について
奨励研究(A) 萌	理学部助教授	森川雅博	900	初期宇宙における相転移
試験研究(B)	生活科学部教授	中島利誠	6,700	高機能発汗カプセルの開発

平成7年度科学研究費補助金配分決定一覧(特別研究員奨励費)

研究代表者所属・職	氏名	決定額(千円)	研究課題
生活科学部・特別研究員	外山紀子	800	スクリプトの順序的制約
理学部・特別研究員	窪谷浩人	1,200	位相的欠陥による宇宙の構造形成の検証
人間文化研究科・特別研究員	伊藤巳令	800	18世紀フランス絵画の研究
生活科学部・特別研究員	数井みゆき	800	幼児を囲む生活環境状態と本人の心理的健康との関係
理学部・特別研究員	奥 菌 透	1,200	複雑な界面構造をもつ系の非平衡ダイナミクス
人間文化研究科・特別研究員	上宇都 ゆりほ	500	慈円における政治と和歌
人間文化研究科・特別研究員	柴 佳世乃	500	中世文学研究—中世における和泉式部像の形成およびその周辺—
人間文化研究科・特別研究員	倉持清美	800	就学前期の仲間関係における一時的遊び集団の形成過程
人間文化研究科・特別研究員	江尻桂子	900	乳児の音声と身ぶり：その発達の関連および同期性
人間文化研究科・特別研究員	コガ E A I	900	日本における日系人労働者とその家族のアイデンティティの変容
人間文化研究科・特別研究員	飯野由美子	800	フッサールの後期現象学における他者問題、明証問題、及び心理問題
理学部・特別研究員	武次徹也	1,200	振動を考慮した新しい反応理論の展開
人間文化研究科・特別研究員	新井実穂	800	イギリス中世後期における宗教ギルドと都市
理学部・特別研究員	AHMADY, M. R.	800	B(ビー)物理の現象論

人 事

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異動区分	異動前の所属・官職
7. 7. 1	芦 原 坦	教授（理学部）	昇 任	助教授（理学部）
”	浜 村 知 枝	休 職 期間 7.9.19 まで	休 職	（庶務課）
7. 7. 15	田 中 麻 美	辞職承認	退 職	庶務課
7. 8. 1	佐々木 信一	休 職 期間 8.3.31 まで	休 職	（会計課）
7. 8. 10	尾 田 幸 雄	附属幼稚園長事務代理（命）	公の名称	（文教育学部教授）
7. 8. 11	”	附属中学校長事務代理（命）	”	”
7. 8. 18	”	附属幼稚園長事務代理（免）	”	”
7. 8. 25	”	附属中学校長事務代理（免）	”	”
7. 8. 26	太 田 次 郎	附属図書館長事務代理（命）	”	（学長）
7. 8. 31	葉 倩 璋	辞職承認	退 職	助手（文教育学部）

◎非常勤職員

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異動区分	任 期	備 考
7. 7. 1	池 田 章 子	教務補佐員 （生活科学部）	任用更新	8. 3. 31	
7. 7. 2	土 屋 和 子	事務補佐員 （学生課）	辞 職		
7. 7. 31	入 江 文 子	教務補佐員 （生活科学部）	”		
7. 8. 16	工 藤 幸	事務補佐員 （学生課）	採 用	8. 3. 30	

◎非常勤講師

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	任期	備考
7. 7. 1	古川 登	講師（理学部）	併任	7. 9. 30	千葉大学助手
〃	石塚道子	講師（文教育学部）	採用	〃	大阪薫英女子短期 大学教授
7. 7. 5	菅野 等	講師（理学部）	併任	7. 9. 30	防衛大学校教授
7. 7. 19	黒田初美	講師（附属中学校）	採用	7. 7. 22	

諸 報

○研 修

名 称	実施日時	対 象 者	修了者	主 催
平成7年度第3回録システム 講習会（図書コース）	平成7年8月1日 ～8月3日	目録システムに接続している 機関で、現在図書目録業務を 担当している職員	附属図書館 総務係 篠原千亜紀	学術情報センター

○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航目的
理学部 ・教授	細矢治夫	連合王国	第6回数理化国際会議において招待講演及び共同研究	7. 7. 8～ 7. 7. 22	外国出張
文教育学部 ・助教授	鷹野光行	イタリア共和国	ローマ帝政期の別荘遺跡発掘調査	7. 7. 13～ 7. 7. 30	外国出張
文教育学部 ・教授	内藤俊史	台湾	共同研究の可能性についての資料収集	7. 8. 3～ 7. 8. 9	外国出張
理学部 ・教授	福田豊	オーストリア共和国	金属錯体の新機能性開発の共同研究推進のため	7. 8. 3～ 7. 8. 12	外国出張
文教育学部 ・助教授	熊谷圭知	パプアニューギニア オーストラリア	ポートモレスビーにおける都市移住者集落の実態調査	7. 8. 5～ 7. 9. 11 (帰国予定)	外国出張
理学部 ・助教授	出口哲生	中華人民共和国	「STATISTICAL MODELS, YANG-BAXTER EQUATIONS AND RELATED TOPICS」に出席・参加	7. 8. 7～ 7. 8. 13	外国出張
附属高等学校 ・教諭	谷田部玲生	アメリカ合衆国	東京学芸大学日米相互理解教育プロジェクト米国研究調査	7. 8. 7～ 7. 8. 21	外国出張
理学部 ・教授	田中翠	ベルギー王国	HYPERFINE INTERACTIONS 国際会議出席	7. 8. 26～ 7. 9. 2 (帰国予定)	外国出張
理学部 ・助教授	小木曾啓示	アメリカ合衆国	代数幾何学サマーインスティテュートに参加するため	7. 7. 7～ 7. 7. 31	海外研修
理学部 ・助教授	出口哲生	連合王国 デンマーク王国 ポーランド共和国	国際会議「幾何学と物理」および国際会議「結び目理論」出席	7. 7. 10～ 7. 8. 5	海外研修
生活科学部 ・助教授	牧野カツコ	インドネシア共和国	第8回アジア家政学会大会での報告について	7. 7. 16～ 7. 7. 20	海外研修

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航目的
女性文化研究センター・教授	原 ひろ子	中華人民共和国	論博研究者の研究指導のため	7. 7.22～ 7. 8. 3	海外研修
人文科学研究科 ・助教授	岡崎 眸	オーストラリア	多言語・多文化をめざす外国語教育の文献調査・資料収集	7. 7.23～ 7. 8.14	海外研修
人間文化研究科 ・助手	西野 由希子	スウェーデン王国 オーストリア王国 オランダ王国	中国現代文学に関してノーベル財団での資料調査・閲覧及び各国の中国文学研究者との研究交流	7. 7.24～ 7. 8.11	海外研修
理学部 ・教授	芦原 担	連合王国 デンマーク王国 スイス連邦	英国グラスゴー大学におけるカフェイン代謝に関する共同研究のため	7. 7.26～ 7.10.27	海外研修
理学部 ・助手	森 幸恵	連合王国	第17回光化学国際会議にてポスター発表のため	7. 7.30～ 7. 8. 4	海外研修
理学部 ・助教授	森川 雅博	イタリア共和国	国際会議GR14参加、研究打合せ	7. 8. 5～ 7. 8.25	海外研修
理学部 ・助教授	藤代 一成	アメリカ合衆国	ACM SIGGRAPH'95に出席のため	7. 8. 6～ 7. 8.13	海外研修
理学部 ・教授	小山 敏子	アメリカ合衆国	コロラドスプリングスにおけるアーベル群国際会議出席のため	7. 8. 6～ 7. 8.18	海外研修
文教育学部 ・助教授	坂本 佳鶴恵	ドイツ連邦共和国 スイス連邦 連合王国	国際会議出席及び資料収集	7. 8. 7～ 7. 8.31	海外研修
文教育学部 ・教授	内藤 俊史	フィリピン共和国	ICP (国際心理学会会議) 地域大会発表	7. 8.10～ 7. 8.12	海外研修
生活環境研究センター・教授	倉田 忠男	アメリカ合衆国	米国化学会に出席、講演及び資料収集	7. 8.10～ 7. 8.26	海外研修

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航目的
生活科学部 ・教授	小池三枝	チェコ共和国	国立カレル大学日本学科における服飾文化研究の相互交流と資料調査	7. 8.11～ 7. 8.24	海外研修
理学部 ・助手	森幸恵	アメリカ合衆国	ブルックヘブン国立研究所化学科で藤田博士と共同研究を行うため	7. 8.14～ 7. 9. 2 (帰国予定)	海外研修
理学部 ・教授	松本勲武	アメリカ合衆国	第13回国際糖質シンポジウムに出席・発表のため	7. 8.19～ 7. 8.28	海外研修
附属高等学校 ・教諭	室岡和彦	中華人民共和国	「第4回国際交流青少年環境体験登山」に参加する生徒の引率	7. 8.20～ 7. 8.27	海外研修
生活科学部 ・助教授	畑江敬子	オランダ王国 スイス連邦	第19回国際冷凍会議参加及び食文化調査資料収集	7. 8.20～ 7. 8.29	海外研修
理学部 ・助教授	藤代一成	オランダ王国 イタリア共和国 スイス連邦 他	EUROGRAPHIC '95出席及びIBMxcチューリッヒ研究センター、スイス国立科学技術計算センターとの意見交換のため	7. 8.22～ 7. 9. 3 (帰国予定)	海外研修
生活科学部 ・教授	田中辰明	ドイツ連邦共和国	建築物のカビ防止研究打ち合わせのためFraunhofer研究所、Kaiserslautern大学訪問	7. 8.23～ 7. 9. 5 (帰国予定)	海外研修
生活科学部 ・教授	黒田淑子	アルゼンチン共和国	第12回国際集団精神療法会議に出席・発表のため	7. 8.24～ 7. 9. 4 (帰国予定)	海外研修
生活環境研究 センター・教授	大橋昌子	アメリカ合衆国	国際複合糖質(第13回)シンポジウムに引き続くサテライトシンポジウムへの出席・討論のため	7. 8.25～ 7. 8.30	海外研修

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航目的
文 教 育 学 部 ・ 教 授	大 口 勇 次 郎	カ ナ ダ	第18回国際歴史学会に出席	7. 8.26～ 7. 9. 4 (帰国予定)	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 助 教 授	三 浦 徹	カ ナ ダ アメリカ合衆国 シリア・アラブ共和国	第18回国際歴史学会に出席及 び調査研究	7. 8.26～ 7. 9.23 (帰国予定)	海外研修
文学教育学部 ・ 教 授	天 野 正 子	オーストリア共和国 スペイン王国	スペイン・モンドラン協同組 合の視察、研究会参加、オー ストリアでのジェンダー研究 会への参加	7. 8.29～ 7. 9. 7 (帰国予定)	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 教 授	遅 塚 忠 躬	カ ナ ダ フランス王国	第18回国際歴史学会に出席及 び調査研究	7. 8.29～ 7. 9.20 (帰国予定)	海外研修

○レクリエーション

行 事 名	実施日時	参加者数	内 容 ・ 入 賞 者	実施場所
平成7年度 職員ソフトボール大会	平成7年 7月25日	74人	優 勝 Aチーム（庶務課・施設課・ 学生部・人間文化研究科・保 健管理センター） 準優勝 Cチーム（文教育学部・理学 部・生活科学部・生活環境研 究センター・女性文化研究セ ンター） 第3位 Bチーム（会計課・附属図書 館）	大学 グラウンド
映 画 鑑 賞	平成7年 7月～8月	125人	題 目 「ダイ・ハード3」「ロブ・ロイ」 「ウォーターワールド」「レッド・ブ ロンクス」「アポロ13」「若草物語」 「キャスパー」「ブロードウェイと銃 弾」「太陽に灼かれて」「野生の葦」 「ジャングル・ブック」「ポカホンタ ス」「エリザ」「恋人たちの食卓」 「学校の怪談」「アンネの日記」「耳 をすませば」「東映アニメフェア」	都内近郊 映 画 館



平成7年度職員ソフトボール大会



○給与等に関する勧告について

人事院は平成7年8月1日国会及び内閣に対し、一般職の給与等に関し、次のように勧告した。

勧 告

次の事項を実現するため、一般職の職員の給与に関する法律（昭和25年法律第95号）を改正することを勧告する。

1 改定の内容

(1) 俸給表

現行の俸給表を別記のとおり改定すること。

(2) 諸手当

ア 初任給調整手当について

(ア) 医療職俸給表(一)の適用を受ける医師及び歯科医師に対する支給月額
の限度を302,900円とすること。

(イ) 医療職俸給表(一)以外の俸給表の適用を受ける医師及び歯科医師で、
医学又は歯学に関する専門的知識を必要とする官職にあるものに対す
る支給月額の限度を50,800円とすること。

イ 扶養手当について

扶養親族である子のうちに満15歳に達する日後の最初の4月1日以降
にある子がいる場合に加算することとされている額を2,500円に当該子
の数を乗じて得た額とすること。

ウ 調整手当について

特別の事情により移転した官署に引き続き勤務する職員等に対する調
整手当は、移転の日から一定期間、当該移転前の官署に係る調整手当の

支給割合以下で、段階的に引き下げた支給割合とすること等の措置を講ずること。

エ 住居手当について

単身赴任手当受給職員で配偶者等が居住する借家・借間の家賃を支払っているものに対して、職員が自ら居住する場合の借家・借間に係る住居手当の月額 $\frac{2}{1}$ に相当する額の住居手当を支給すること。

オ 通勤手当について

勤務地を異にする異動等に伴い通勤に新幹線等を利用することが必要となった職員等の通勤手当の月額は、現行の通勤手当の月額に特急料金等の $\frac{2}{1}$ の額を2万円を限度として加算した額とすること。

カ 宿日直手当について

勤務1回に係る支給額の限度を、通常の宿日直勤務は3,400円、医師又は歯科医師の宿日直勤務は16,000円、人事院規則で定める特殊な業務を主とする宿日直勤務は6,400円（執務時間が通常の執務日の $\frac{2}{1}$ の時間である日の退庁時から引き続く場合にあっては、それぞれ5,100円、24,000円、9,600円）とし、常直勤務に係る支給月額の限度を17,000円とすること。

(3) その他

俸給表の改定に伴い、職務の級に異動があった職員等の号俸等について本年度末までの間、新たに所要の経過措置を講ずること。

2 改定の実施時期

この改定は、平成7年4月1日から実施すること。ただし、1の(2)のエからカまでについては、平成8年1月1日から実施すること。

別記

行政職俸給表

イ 行政職俸給表(一)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	9 級	10 級	11 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
1	-	-	182,500	215,200	232,700	252,800	272,000	293,100	327,600	366,400	415,900
2	133,600	169,000	189,300	223,300	241,400	261,700	281,200	302,900	339,600	379,000	430,900
3	137,900	175,600	196,100	231,600	250,300	270,600	290,600	312,900	351,600	391,700	445,900
4	142,400	182,500	202,900	240,300	258,900	279,600	300,100	323,300	363,500	404,300	461,000
5	147,400	188,200	210,200	249,100	267,300	288,600	309,800	333,700	375,400	417,300	476,100
6	153,100	193,200	218,000	257,600	275,800	297,700	319,600	344,000	387,400	430,000	491,300
7	159,000	198,200	225,700	265,900	284,300	307,000	329,500	354,100	399,600	442,500	506,600
8	165,000	203,100	232,900	274,200	292,700	316,400	339,400	364,100	411,800	455,000	522,100
9	169,400	207,700	239,400	282,300	301,100	325,800	349,200	374,100	424,000	467,400	537,500
10	172,900	212,200	245,700	290,200	309,400	335,400	358,900	384,100	435,600	479,800	552,800
11	175,800	216,600	251,900	298,000	317,600	345,200	368,500	394,000	446,800	490,700	564,700
12	178,500	221,000	257,600	305,600	325,500	354,900	377,800	403,900	457,800	500,800	572,600
13	181,200	225,300	263,300	313,100	333,400	364,500	386,800	413,800	467,000	509,300	580,100
14	183,400	228,700	268,700	320,500	341,000	373,800	394,700	423,300	474,600	516,500	586,300
15	185,500	231,800	274,000	327,200	347,200	382,100	401,600	430,700	482,200	521,100	591,100
16	187,100	234,900	278,800	333,500	353,000	388,800	407,800	437,700	487,500		
17		238,000	283,200	338,100	358,100	395,200	413,200	442,300	492,100		
18		240,900	287,000	342,200	362,300	399,600	417,800	446,800	496,400		
19		242,900	290,500	346,200	366,200	403,900	422,300	451,100			
20			293,300	349,100	369,800	408,100	426,400	455,000			
21			296,000	351,800	372,900	412,300	430,300	458,800			
22			298,600	354,500	376,000	416,200	434,000				
23			301,100	357,300	379,200	419,900					
24			303,500	360,200	382,300	423,500					
25			305,900	362,900	385,100						
26			308,200	365,500	387,900						
27			310,500	367,900							
28			312,800	370,300							
29			315,100								
30			317,300								
31			319,500								
32			321,700								

備考(一) この表は、他の俸給表の適用を受けないすべての職員に適用する。ただし、第二十二条及び附則第三項に規定する職員を除く。

(二) 3級の1号俸を受ける職員のうち、新たにこの表の適用を受けることとなった職員で人事院規則で定めるものの俸給月額は、この表の額にかかわらず、180,500円とする。

ロ 行政職俸給表(二)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円
1	-	162,900	180,900	197,800	223,300	251,300
2	119,700	169,400	186,500	203,600	230,100	258,500
3	123,400	175,100	192,100	209,900	236,900	265,800
4	127,000	180,800	197,800	216,500	243,800	273,700
5	130,500	185,800	203,500	223,200	250,600	281,600
6	134,500	190,700	209,700	229,800	257,300	289,900
7	139,200	195,700	216,000	235,900	263,900	298,300
8	143,900	200,700	222,200	241,700	270,000	306,900
9	149,800	205,800	228,300	247,500	275,800	315,300
10	155,800	211,000	234,100	253,300	281,400	323,400
11	162,700	216,200	239,700	258,600	287,000	331,400
12	169,200	221,200	245,200	263,800	292,700	339,400
13	174,800	226,000	250,400	268,800	298,300	347,200
14	180,100	230,800	255,500	273,900	303,800	354,200
15	184,600	235,500	260,500	278,900	309,300	361,000
16	188,900	239,800	265,200	284,000	314,700	367,700
17	193,200	243,900	270,200	288,500	319,900	374,200
18	197,100	247,800	275,200	292,800	324,700	380,100
19	200,600	251,400	279,800	296,500	329,300	385,500
20	203,500	254,100	284,000	300,000	333,500	390,500
21	206,500	256,400	287,200	303,400	337,400	395,300
22	209,500	258,700	290,100	306,600	341,000	399,600
23	212,400	260,800	292,700	309,600	343,800	403,000
24	215,200	262,900	295,200	312,600	346,600	
25	217,600	264,900	297,500	315,300	349,000	
26	219,900	266,900	299,800	317,900	351,400	
27	222,100	269,000	302,100	320,300	353,800	
28	224,300	271,100	304,400	322,600		
29	226,400	273,100	306,600	324,800		
30	228,400	275,000	308,800	327,000		
31	230,300	276,900	310,800	329,200		
32	232,100	278,700				
33		280,600				

備考 この表は、機器の運転操作、庁舎の監視その他の庁務及びこれらに準ずる業務に従事する職員で人事院規則で定めるものに適用する。

教育職俸給表

イ 教育職俸給表(一)

職務の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円
1	-	-	246,700	281,700	353,600
2	159,700	200,900	255,800	292,700	365,700
3	167,500	209,400	265,000	303,800	377,800
4	177,400	218,100	274,400	314,900	390,000
5	187,700	227,100	284,300	326,100	402,300
6	195,200	236,200	294,300	337,300	414,400
7	202,400	245,300	304,600	348,500	426,300
8	209,700	254,400	315,100	359,700	438,200
9	217,800	263,400	325,000	370,800	450,100
10	226,700	272,500	334,900	381,900	462,100
11	233,800	281,700	344,800	392,500	474,200
12	242,200	290,700	354,600	402,100	486,400
13	250,200	299,700	364,400	411,500	498,600
14	257,900	307,500	374,200	420,600	511,100
15	265,100	315,300	383,800	429,400	523,900
16	272,300	322,100	392,900	437,800	535,900
17	278,800	328,800	401,800	445,900	546,700
18	285,200	335,400	410,200	453,900	557,300
19	291,500	341,900	418,300	461,400	567,700
20	297,400	348,100	426,000	468,700	577,600
21	303,300	354,300	433,600	475,900	586,700
22	308,700	360,500	441,000	483,000	593,700
23	313,700	366,600	447,500	489,500	598,800
24	318,700	372,600	453,900	496,000	603,600
25	322,800	378,400	458,100	502,000	
26	326,700	383,600	461,900	506,300	
27	330,500	387,600	465,700	509,900	
28	334,100	391,200	469,500	513,400	
29	336,800	394,600	472,800		
30	339,400	398,000	476,000		
31	342,000	401,400			
32	344,500	404,800			
33	346,900	408,100			
34	349,300	411,300			
35	351,700	414,400			
36	354,100	417,400			
37	356,500				
38	358,900				

備考 この表は、大学及びこれに準ずるもので人事院の指定するものに勤務する教授、助教授、講師、助手その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

ロ 教育職俸給表(二)

職務の級	1 級	2 級	3 級	4 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円
1	-	-	303,500	402,900
2	146,300	189,300	313,500	413,100
3	152,700	196,000	323,500	423,300
4	159,700	202,800	333,500	433,400
5	167,500	210,100	343,500	443,400
6	176,400	217,600	353,600	453,400
7	185,900	225,600	363,600	463,500
8	192,400	233,800	373,500	473,600
9	198,900	242,200	383,400	483,900
10	205,400	250,700	393,300	494,400
11	212,200	259,400	403,000	505,200
12	219,200	269,100	412,600	514,900
13	226,700	278,800	422,000	523,600
14	234,300	288,600	431,200	531,300
15	242,000	298,400	440,300	535,900
16	249,900	308,200	449,400	
17	257,600	318,100	458,400	
18	265,200	328,000	467,600	
19	272,700	337,900	476,800	
20	279,400	347,600	485,300	
21	285,900	357,200	493,700	
22	292,000	366,700	501,900	
23	298,100	376,000	508,900	
24	304,200	385,300	513,100	
25	310,300	393,800		
26	316,300	401,800		
27	322,300	409,800		
28	328,300	417,800		
29	333,900	425,800		
30	338,100	432,700		
31	342,100	439,400		
32	345,800	444,900		
33	349,200	450,000		
34	351,800	454,900		
35	354,300	459,400		
36	356,700	462,400		
37	359,000			
38	361,300			
39	363,500			
40	365,700			

備考(一) この表は、高等学校及びこれに準ずるもので人事院の指定するものに勤務する校長、教頭、教諭、養護教諭、助教諭、実習助手その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

(二) この表の適用を受ける職員のうち、その職務の級が3級である職員で人事院規則で定めるものの俸給月額は、この表の額に8,000円をそれぞれ加算した額とする。

ハ 教育職俸給表(三)

職務の級	1 級	2 級	3 級	4 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円
1	-	-	262,900	398,500
2	146,300	161,800	273,000	407,400
3	152,700	170,000	283,100	416,300
4	159,700	178,900	293,300	425,200
5	167,500	189,300	303,500	434,100
6	176,400	196,000	313,500	443,000
7	185,900	202,800	323,500	452,100
8	192,400	210,100	333,500	460,700
9	198,800	217,600	343,500	468,800
10	205,200	225,600	353,500	476,700
11	211,600	233,800	363,400	484,300
12	218,200	242,200	372,500	491,900
13	225,100	250,700	381,400	498,600
14	232,300	259,400	390,100	503,900
15	239,200	269,100	398,600	508,000
16	246,000	278,800	406,800	
17	252,600	288,600	415,000	
18	259,000	298,400	423,200	
19	265,400	308,200	431,400	
20	271,300	318,100	439,500	
21	276,800	328,000	447,100	
22	282,100	337,800	453,900	
23	287,000	347,400	460,300	
24	291,700	356,900	465,500	
25	295,500	365,400	470,000	
26	299,200	373,700	473,800	
27	302,700	381,700	477,000	
28	305,700	389,200	480,000	
29	308,200	396,600		
30	310,600	403,300		
31	312,800	409,900		
32	315,000	416,400		
33	317,100	422,300		
34		428,100		
35		433,100		
36		437,600		
37		442,000		
38		445,800		
39		448,400		

備考(一) この表は、中学校、小学校、幼稚園及びこれらに準ずるもので人事院の指定するものに勤務する校長、園長、教頭、教諭、養護教諭、助教諭その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

(二) この表の適用を受ける職員のうち、その職務の級が3級である職員で人事院規則で定めるものの俸給月額は、この表の額に7,900円をそれぞれ加算した額とする。

□ 医療職俸給表(二)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円	円	円
1	-	-	202,900	225,600	261,700	302,900	338,100	404,400
2	138,100	174,500	209,600	233,600	271,000	312,900	349,900	417,200
3	143,600	180,900	216,600	242,000	280,400	322,900	361,700	430,000
4	150,200	187,300	224,500	250,400	289,800	332,900	373,600	443,000
5	156,800	193,600	232,400	258,800	299,200	342,900	385,500	456,100
6	164,100	199,900	240,600	267,200	308,700	352,800	397,600	469,200
7	171,400	206,200	248,800	275,600	318,400	362,800	410,000	482,900
8	177,500	212,400	257,000	284,200	328,100	372,800	422,500	497,000
9	183,500	219,100	265,300	292,800	337,800	382,900	434,600	510,700
10	188,600	226,300	273,600	301,500	347,500	393,100	446,200	524,300
11	193,700	233,200	281,800	310,000	357,100	403,200	457,500	532,400
12	198,700	239,800	289,800	318,300	366,300	413,200	467,000	539,800
13	203,500	246,200	297,700	326,500	375,300	422,900	474,600	546,900
14	208,000	252,600	305,500	334,600	383,700	430,500	482,200	553,700
15	212,500	258,400	313,300	342,400	390,700	437,600	489,700	559,100
16	216,900	264,000	320,900	348,700	397,400	442,300	494,200	563,600
17	221,200	269,400	328,000	354,600	403,000	446,800	498,500	
18	225,500	274,700	334,700	360,300	408,400	451,100		
19	229,000	279,500	339,600	364,400	412,800	455,000		
20	232,100	284,100	344,300	368,400	417,000	458,800		
21	235,100	287,600	348,200	372,300	421,200			
22	237,600	290,300	351,300	375,800	424,900			
23	239,600	293,000	354,100	379,100	428,500			
24		295,500	356,900	382,100				
25		297,700	359,600	384,900				
26		299,900	362,200	387,700				
27		302,100	364,800	390,500				
28		304,300	367,200					
29			369,600					
30			372,000					

備考 この表は、病院、療養所、診療所等に勤務する薬剤師、栄養士その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

ハ 医療職俸給表(三)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円	円
1	-	-	218,200	239,900	270,700	306,600	340,000
2	151,100	177,600	224,700	247,100	279,100	316,200	351,900
3	156,600	185,900	232,300	254,400	287,500	326,200	363,800
4	162,500	194,700	239,600	261,700	295,900	336,400	375,800
5	168,500	200,300	246,800	269,100	304,300	346,500	387,800
6	176,500	205,900	254,000	276,800	312,700	356,500	400,200
7	184,800	211,700	261,200	284,500	321,100	366,500	413,000
8	193,000	217,900	268,400	292,300	329,400	376,600	425,200
9	197,900	224,400	275,700	300,100	337,400	386,900	437,200
10	202,900	231,600	283,200	308,000	345,300	397,300	449,000
11	207,900	238,800	290,800	315,700	353,200	408,000	460,800
12	213,100	246,000	298,300	323,300	361,200	418,400	471,600
13	218,500	253,200	305,700	330,700	369,200	428,400	480,800
14	223,800	260,400	313,000	338,100	377,400	438,300	489,700
15	229,400	267,500	320,300	345,500	385,600	448,100	498,100
16	234,900	274,600	327,300	352,700	393,800	456,800	505,600
17	240,500	281,700	334,100	360,000	401,400	465,400	510,600
18	246,100	288,700	340,900	367,000	408,200	473,600	514,900
19	251,700	295,400	347,500	374,000	413,500	481,000	518,900
20	257,200	302,200	354,100	380,200	418,400	485,900	
21	262,400	309,000	360,700	386,000	423,200	490,100	
22	267,600	315,400	366,900	391,600	427,300	493,800	
23	272,100	321,800	372,300	396,000	430,800		
24	276,700	328,200	377,600	399,900	433,500		
25	281,000	334,400	382,100	403,600			
26	285,200	339,300	385,800	407,200			
27	288,900	343,500	389,400	410,200			
28	292,400	347,600	392,400	412,800			
29	295,200	351,300	395,400				
30	297,900	353,800	398,200				
31	300,500	356,200	400,700				
32	303,000	358,500					
33	305,500	360,900					
34	307,700	363,300					
35	309,900	365,700					
36	312,100	368,100					
37	314,300	370,500					
38	316,500	372,900					
39	318,700						
40	320,900						
41	323,100						

備考 この表は、病院、療養所、診療所等に勤務する保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦その他の職員で人事院規則で定めるものに適用する。

指 定 職 俸 給 表

号 俸	俸 給 月 額
	円
1	580,000
2	643,000
3	714,000
4	792,000
5	854,000
6	918,000
7	1,001,000
8	1,082,000
9	1,160,000
10	1,242,000
11	1,315,000
12	1,343,000

備考 この表は、事務次官、外局長、大学の学長、試験所又は研究所の長、病院又は療養所の長その他の官職を占める職員で人事院規則で定めるものに適用する。

別記備考

改定後の俸給表適用の日における職員の職務の級及び号俸は、その適用の日の前日における職務の級及び号俸と同一とする。

給与勧告についての説明

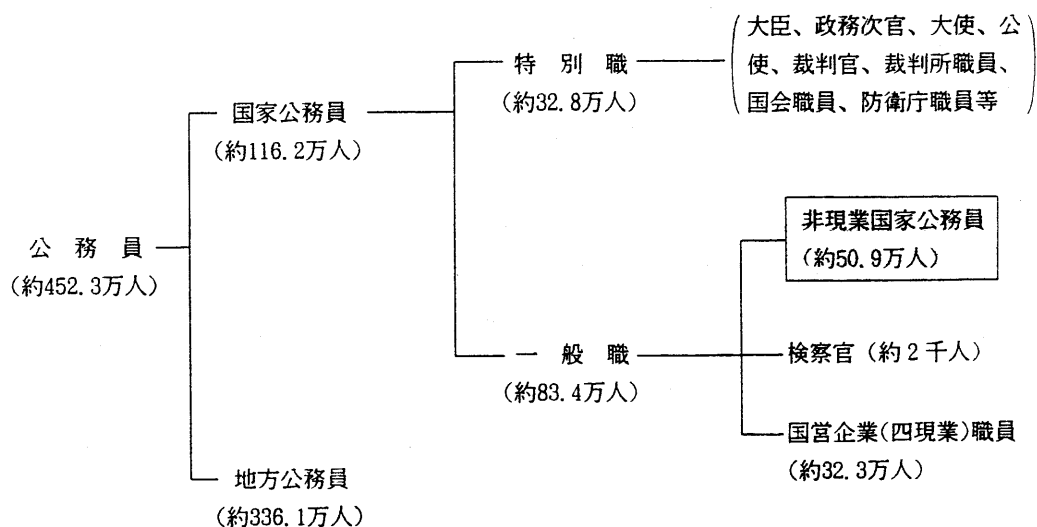
平成7年8月1日

人 事 院

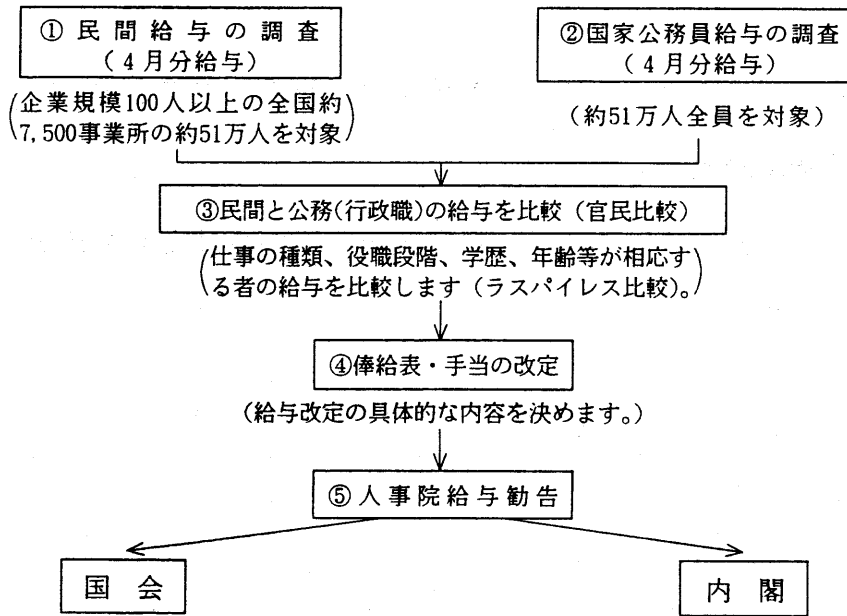
1 人事院の給与勧告

人事院の給与勧告は、「一般職の職員の給与に関する法律」の適用を受け、いわゆる非現業の国家公務員約51万人を対象としています。これらの職員は労働基本権の制約を受け、自らの勤務条件の決定に直接参加できないため、その代償措置として人事院が給与の改定に関する勧告を国会と内閣に対し行うこととされています。人事院は国家公務員の給与について民間に準拠すること、すなわち国家公務員の給与を民間の給与水準と均衡させることを基本として勧告を行ってきています。

また、人事院は、給与勧告を行うに当たっては、各界の多くの方々から意見を拝聴しております。



給与勧告の手順



2 本年の給与勧告の概要

(1) 官民給与の較差

本年4月時点の官民給与をラスパイレス方式により比較したところ、民間給与が公務員給与を1人当たり平均3,097円(0.90%)上回っていました。

この3,097円を給与改善原資として、俸給の改善に2,786円、手当の改善に125円、その他に186円配分しています。

民間給与 [公務の職員構成 に合わせたもの]	較差	公務員給与 [行政職(一)・(二)]	改善
345,944円	3,097円 (0.90%)	342,847円	342,847円
本給		俸給	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 内訳 俸給 2,786円 手当 125円 その他 186円 計 3,097円 </div>
手当		手当	

- (注) 1. 行政職俸給表(一)・(二)の適用を受ける職員の平均年齢は39.5歳
 2. 「その他」とは、調整手当のように俸給等に一定率を乗じた金額を手当額とするものについて、俸給等の改善に伴い自動的に引き上げられる部分をいう。

(2) 給与改定の内容

① 俸給表

本年の改定に当たっては、中堅層職員の改善に重点を置いています。

○ 行政職俸給表(一)の初任給

I種の初任給については、民間企業の動向を踏まえ据え置くことにしています。

試 験	級号俸	俸 給 月 額
I種(大学卒)	3級1号俸	180,500円(据置き)
II種(大学卒)	2級2号俸	169,000円(現行 167,200円)
III種(高校卒)	1級3号俸	137,900円(現行 136,500円)

(注) このほか特定の地域に在勤する職員には、3%、6%、10%、12%の調整手当が支給される。

○ 行政職俸給表(一)の級別引上率

級	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
引上率(%)	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	0.9	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.9

○ 各俸給表

行政職との均衡を考慮し、民間における同種職種の給与の動向をも参考にして改善を行うことにしています。(事務・技術系のI種の初任給は据置き)

なお、改善に当たっては、昨年を引き続いて公安職、若手研究員、看護婦などに配慮しました。

② 手 当

扶養手当、通勤手当、住居手当、調整手当、医師に対する初任給調整手当及び宿日直手当を改定することになっています。

○ 扶養手当

高等学校入学から大学卒業までの年齢に当たる満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子がいる場合に加算する額を改定することになっています。

	配偶者	配偶者以外の扶養親族			16～22歳の子1人につき加算する額	
		1人目	配偶者が ない場合	2人目		3人目以降
現 行	円 16,000	円 5,500	円 11,000	円 5,500	円 2,000	円 2,000
改定後	円 "	円 "	円 "	円 "	円 "	円 2,500

○ 転勤者に対する特例措置

・ 通勤手当

異動等に伴って新幹線等を利用することが必要となった職員等の通勤手当の月額については、現行の通勤手当の額に特急料金等の2分の1の額を2万円を限度として加算した額とすることになっています。

・ 住居手当

単身赴任手当受給者の留守家族が居住する借家・借間の家賃に対して、現行手当の算定方法による額の2分の1の額を支給することになっています。

○ 調整手当

「機関移転」等特別の事情により移転した官署に引き続き勤務する職員等に対しては、調整手当の支給について特別の措置を講ずることにしてあります。

○ 初任給調整手当

医師の初任給調整手当を次のとおり改定することにしてあります。

ア 医師・歯科医師の最高支給額（離島、へき地等）

月額 302,900円（現行 299,000円）

イ 医系教官等の最高支給額

月額 50,800円（現行 50,500円）

○ 宿日直手当

手当額を次のとおり改定することにしてあります。

ア 一般の宿日直 3,400円（現行 3,300円）

イ 業務当直 4,300円～ 6,400円（現行 4,200円～ 6,000円）

ウ 医師当直 16,000円（現行 15,000円）

エ 常直 月額 17,000円（現行 16,000円）

③ その他

俸給の調整額については、俸給表構造と整合性がとれた調整方法に改めることにしてあります。また、来年見直しの期限を迎える筑波研究学園都市移転手当については、その改廃に関する措置について検討を進め、寒冷地手当については、官民の支給状況等を考慮しつつ、その水準及び

支給方法を見直すことにしています。

なお、民間企業における賃金体系には変化の兆しがみられており、公務においても、こうした動向を踏まえつつ適切な制度見直しを行っていく必要があるとしているほか、官民給与の比較方法の見直しについては引き続き検討することにしています。

(3) 実施時期等

- ・ 平成7年4月1日（ただし、通勤手当、住居手当、宿日直手当については、平成8年1月1日）
- ・ 俸給表の改定に伴い、昇格などの職務の級に異動があった職員の号俸等の決定について本年度末までの間、改定前の俸給表によることができる旨の経過措置を新たに講ずることにしています。

3 その他

(1) 交流の促進

公務員が、従来の思考や慣行にとらわれず、広い視野や柔軟な発想を備えて業務に臨めるよう、公務内外での交流の機会を拡大していくことが求められています。このため、民間部門との交流促進のために必要な条件整備を図ること、全省庁合同研修及び省庁間人事交流を更に拡充強化することの必要性を述べています。

(2) 研究活動の活性化

我が国の研究活動の活性化を図って行くためには、政府全体としての基本方針の下に、関係諸機関が連携をとりつつ、それぞれの分野で施策を講

じて行く必要があるとしています。人事院としては、大学教官を含め、能力・実績ある研究者の確保、研究業績の給与への反映等に関して検討を進めることとしています。

(3) 転勤者に対する施策

国の行政事務を円滑に実施するには職員の転勤が不可欠なものとなっており、職員が使命感を持って引き続き公務に精励していくためには、総数として転勤を減少させる努力に加え、転勤者に対する負担の軽減等を図る必要があるとしています。本院としても、引き続き検討を進めていくことにしています。

(4) 職員の勤務時間等

職員の勤務時間等については、公務の円滑な運営と職員の健康、福祉を考慮したより適切な運用が肝要であり、引き続き超過勤務の縮減等の努力が必要であることを述べています。ボランティア休暇については、各般の動向等を踏まえ研究を進めていくことにしています。

(5) 公務における高齢対策

活力ある高齢社会に向けて、新再任用制度の検討方向と人事管理や生涯処遇の見直し等の課題について述べるとともに、各省庁に対して、高齢者雇用施策の推進に必要な諸課題への取組を要請しています。今後1年程度を目途に、高齢者雇用制度の骨格を示すべく更に検討を進めていきます。

資 料

級別代表官職及び勸告による俸給月額

行政職俸給表(一)

職務の級 機関等	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	9 級	10 級	11 級
本省庁	係員	係員	主任	係長	係長	係長	課長補佐	課長補佐	室長	課長	部長
管区機関	係員	係員	主任	係長	係長	課長補佐	課長補佐	課長	課長	部長	機関の長
府県単位機関	係員	係員	主任	係長	係長	課長	課長	機関の長	機関の長	機関の長	
地方出先機関	係員	係員	主任	係長	課長	課長	機関の長	機関の長			

職務の級 号 俸	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	9 級	10 級	11 級
	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
1	-	-	182,500	215,200	232,700	252,800	272,000	293,100	327,600	366,400	415,900
2	133,600	169,000	189,300	223,300	241,400	261,700	281,200	302,900	339,600	379,000	430,900
3	137,900	175,600	196,100	231,600	250,300	270,600	290,600	312,900	351,600	391,700	445,900
4	142,400	182,500	202,900	240,300	258,900	279,600	300,100	323,300	363,500	404,300	461,000
5	147,400	188,200	210,200	249,100	267,300	288,600	309,800	333,700	375,400	417,300	476,100
6	153,100	193,200	218,000	257,600	275,800	297,700	319,600	344,000	387,400	430,000	491,300
7	159,000	198,200	225,700	265,900	284,300	307,000	329,500	354,100	399,600	442,500	506,600
8	165,000	203,100	232,900	274,200	292,700	316,400	339,400	364,100	411,800	455,000	522,100
9	169,400	207,700	239,400	282,300	301,100	325,800	349,200	374,100	424,000	467,400	537,500
10	172,900	212,200	245,700	290,200	309,400	335,400	358,900	384,100	435,600	479,800	552,800
11	175,800	216,600	251,900	298,000	317,600	345,200	368,500	394,000	446,800	490,700	564,700
12	178,500	221,000	257,600	305,600	325,500	354,900	377,800	403,900	457,800	500,800	572,600
13	181,200	225,300	263,300	313,100	333,400	364,500	386,800	413,800	467,000	509,300	580,100
14	183,400	228,700	268,700	320,500	341,000	373,800	394,700	423,300	474,600	516,500	586,300
15	185,500	231,800	274,000	327,200	347,200	382,100	401,600	430,700	482,200	521,100	591,100
16	187,100	234,900	278,800	333,500	353,000	388,800	407,800	437,700	487,500		
17		238,000	283,200	338,100	358,100	395,200	413,200	442,300	492,100		
18		240,900	287,000	342,200	362,300	399,600	417,800	446,800	496,400		
19		242,900	290,500	346,200	366,200	403,900	422,300	451,100			
20			293,300	349,100	369,800	408,100	426,400	455,000			
21			296,000	351,800	372,900	412,300	430,300	458,800			
22			298,600	354,500	376,000	416,200	434,000				
23			301,100	357,300	379,200	419,900					
24			303,500	360,200	382,300	423,500					
25			305,900	362,900	385,100						
26			308,200	365,500	387,900						
27			310,500	367,900							
28			312,800	370,300							
29			315,100								
30			317,300								
31			319,500								
32			321,700								

公務員給与改定の勧告に当たって

人事院総裁談話（平成7年8月1日）

- 1 本日、人事院は、国会と内閣に対して、公務員の給与について報告し、併せてその給与を本年4月から0.90%改定するよう勧告しました。
- 2 公務員給与に関する人事院の勧告は、従来から社会経済情勢全般の動向を踏まえつつ、民間給与との均衡を図ることを基本として行ってきました。本年も民間給与の精密な調査に加え、厳しい経済情勢の下での企業の対応策について調査し、また、広く各界から意見を聴取するなど様々な角度から検討を行い、諸事情を総合的に勘案した結果、職員の給与について所要の改定を行うことが必要であると認めました。
- 3 公務を取り巻く環境の変化に応じて、公務の人事管理面でも適切に対応していく必要があります。民間企業においては、職務、能力、実績を重視する賃金体系への変化の兆しがみられており、公務においても、民間賃金の動向を踏まえつつ、既存の制度や運用について適切な見直しを行っていきたいと考えます。また、官民の間あるいは省庁間の交流の拡大を図るほか、合同研修の充実等の施策を講じていく必要があると考えています。
- 4 高齢者雇用の促進は、21世紀に向けて社会全体として取り組むべき課題であり、公務においては、働く意欲と能力を有する60歳代前半層の職員を広く雇用することを目指して、新再任用制度の検討や人事管理の見直しに取り組んでいるところです。今後、関係機関と協力しつつ、更に検討を進めていきたいと考えています。

5 人事院の給与勧告は、公務員が労働基本権の制約を受け、自らの給与の決定に直接参加できる立場にないことの代償措置として行われるものであり、公務員にとってほとんど唯一の給与改善の機会となっています。

国会及び内閣におかれては、適正な処遇の確保が職員の士気の高揚、職場の労使関係の安定に寄与するとともに、必要な人材を確保し、将来にわたって国の行政運営の安定を図るための基盤であることに深い御理解をいただき、この勧告を速やかに実施されるよう要請します。

6 国民各位におかれては、人事院が行う勧告の意義と公務員の適正な処遇を確保することの必要性について深い御理解をいただきたいと思いをします。

7 公務員諸君においては、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務する責務を深く自覚し、高い倫理を保持しつつ、厳正な規律の下で、国民の期待と信頼にこたえるよう全力をあげてその職責を果されることを希望します。

また、民間企業においては、厳しい経営環境の下で、業務の効率化に努めていることにも留意し、それぞれの職場において効率的な業務遂行と行政サービスの向上に努められるよう希望します。

日 誌

◇諸会議

- 7月4日(火) 入学試験委員会
カリキュラム委員会
- 7日(金) 人事関係事項文部省説明(於文部省)
事務連絡会議
レクリエーション運営委員会
- 11日(火) 生活環境研究センター運営委員会
部局長会議
主任会議(3学部)
- 12日(水) 教授会
概算要求文部省説明(於文部省)
事務局長文部省懇談会(於文部省)
- 13日(木) 厚生補導関係概算要求文部省説明
(於文部省)
- 14日(金) 概算要求文部省説明(於文部省)
- 18日(火) 部局長会議
- 19日(水) 評議会
大学院問題検討特別小委員会
附属学校教育研究委員会
- 20日(木) 関東C地区国立学校事務電算化協
議会(於電気通信大)
- 24日(月) 学生委員会広報・就職専門委員会
国立学校図書館協議会防災と災害
発生時対策調査研究会議(於医
科歯科大)
- 8月21日(月) 平成8年度大学入学者選抜大学入
試センター試験入試担当者連絡協
議会(於東京医科歯科大学)
- 29日(火) 平成7年度国立学校事務電算化講
習会(～31日於北海道大学情報処
理教育センター)

◇行事等

- 7月4日(火) 第2回学生健康診断
- 22日(土) 理学部、生活科学部見学会
- 25日(火) 学内ソフトボール大会
- 28日(金) 文化系・体育系サークルリーダ
ーズ研修

MEMO